

茗溪



秋

2019

令和元年

no.1103

目次

- グラビア …… 01 ～ 02
- 占春園再生プロジェクト完成祝賀会 …… 03 ～ 06
- 令和元年「追悼のつどい」 …… 07
- 令和元年度 茗溪会地域組織表 …… 08
- 茗溪会学生活動支援事業 …… 09
- 学生活動支援事業採択団体の活動内容紹介 …… 10 ～ 11
- 第45回やどかり祭を終えて …… 12 ～ 13
- 茗溪・東西南北 …… 14 ～ 15
- 東京教育大学・筑波大学体育会
アーチェリー部 創部 60 周年記念によせて …… 16 ～ 17
- 『茗溪フェロー』協力者ご芳名 …… 18
- 令和元年度『茗溪フェロー』ご協力をお願い …… 19
- 季刊誌『茗溪』正月号に誌上交流広告掲載ご協力をお願い …… 19
- 筑波大学はいま …… 20
- 茗溪学園だより …… 21
- 桐の葉のつどい …… 22 ～ 23
- 追悼録 …… 24 ■ 広報 …… 26
- 表紙のことば …… 26 ■ 編集後記 …… 26



日本のバウムクーヘンの歴史は
ユーハイムから始まりました。



まっすぐなおいしさ

日本で初めてバウムクーヘンが焼かれたのは1919年(大正8年)のこと。
創始者カール・ユーハイムの焼きあげたバウムクーヘンへの想いは
今も変わらず、職人から職人に受け継がれています。

ユーハイム®

www.juchheim.co.jp/juchheim
〒650-0046 神戸市中央区港島中町7-7-4

お客様係 TEL 0120-860816

受付時間：平日(月～金) 9:30～17:00(年末年始を除く)
携帯電話・PHS からはご利用いただけません。

食の提供 (アウトソーシング)

社員食堂 / 寮・研修所・保養所・研究施設 /
学生食堂 / レジャーレストラン / カフェ

お仕事に、勉強にがんばる皆様を食事面からサポートいたします。
空間づくりなども含めた委託運営を行っています。



学生食堂

～学校ブランドを高める空間づくり～

学生の皆様にとって、大切な思い出の一つになる学生食堂。
学校それぞれの教育方針に沿って運営を行いながらも、
学生層に合わせ、トレンドを意識したメニューをご用意。
カジュアルさとおいしさで好評をいただいています。
また、売店の運営やスクールバスの運行など、トータルでの
サポートも可能です。

寮・研修所・保養所・研究施設

～やすらぎと栄養バランスを考えた食事提供～

各施設の運営方針やご利用者の年齢層に応じたメニューを
提供。栄養バランスを考慮した食事を提供するだけでなく、
研修施設では研修期間や日程などの利用状況に対応した運営を
心がけ、「食」を通じて家庭にいるような安らぎを提供すること
を目指しています。食事以外にも、施設管理全般にわたる管理
業務も行っています。



はぐくむ、大切なことのすべて

SHIDAX

シダックスフードサービス株式会社

〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町1-17-10 シダックス新宿セントラルロード
TEL.03-6632-5052 (代表)

KAIT

力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。

■工学部

機械工学科(航空宇宙学専攻含む)
電気電子情報工学科
応用化学科
臨床工学科(臨床工学技士養成課程)※

■創造工学部

自動車システム開発工学科
ロボット・メカトロニクス学科
ホームエレクトロニクス開発学科

■応用バイオ科学部

応用バイオ科学科
栄養生命科学科(管理栄養士養成課程)※

■情報学部

情報工学科
情報ネットワーク・コミュニケーション学科
情報メディア学科

■看護学部

看護学科(看護師養成課程)※

※2020年度に新学部への再編を構想中

常務理事 河野 隆二(S47農)

教職センター 大畑多津雄(S52理 数)(神奈川茗溪会会長)

教職センター 望月 正大(S51理 数)(同 副会長)

早期学生支援室 掛原 豊(S54農林学類)



神奈川工科大学
KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:http://www.kait.jp/

占春園完成祝賀会 (P.3～6 参照)



理事長挨拶



理事長から清水副学長へ目録贈呈



感謝状 海老澤敬子氏



感謝状 剣持氏・具志堅氏・Paulick 氏





山形由美さんによるフルート演奏



理事長挨拶

追悼のつどい
令和元年9月28日(土)
於茗溪会館
(P.7 参照)



一般社団法人 茗溪会「追悼のつどい」

第45回 やどかり祭 2019年5月31日～6月1日

(P.12～13 参照)



御輿練り歩き



舞台パフォーマンス

占春園再生プロジェクト完成祝賀会

令和元年7月21日に「占春園再生プロジェクト」完成祝賀会が茗溪会館二階「茗溪」の間において開催されました。会には、ご寄付者、自治体、筑波大学、学生、茗溪会の関係者の方々50名以上が参加されました。

祝賀会の概要を報告させて頂くとともに、「茗溪創基150年記念事業」の一環として行われました「占春園再生プロジェクト」の取組状況と成果、IOCバツハ会長の茗溪会宛て返信について紹介させて頂きます。

◇江田理事長挨拶



江田理事長

初めに、茗溪会江田理事長より挨拶がありました。

「まず、2020年に茗溪創基150年を迎える茗溪会の記念事業の一つであるこのプロジェクトにご尽力くださった関係各位に、そして真に奉仕的にお力添え下さった方々に御礼を申し上げます。事の始めとして、相談をした当時の大学施設担当副学長の石野様は、すぐさま手をうつてくださり、我々の決断を引き出して頂きました。また、附属小学校、文教区役所関係、当方の西川綾子理事のお知り合いの庭園、造園関係の方々には大変なご厚意でご尽力いただきました。茗溪会を代表して重ねて感謝を申し上げます。

占春園は、徳川光圀公より異母弟松平頼元公が上屋敷として賜った松平家の庭園です。明治維新を境に一時個人所有となり、その後、文部省が高等師範学校用地として買い上げました。東京教育大学のつくば移転後は、筑波大学附属小学校の自然観察の場となっております。本プロジェクトにより、長い歴史の中のはんのひと時、

園の整備に関わらせて頂きましたが、これからは筑波大学の永い歴史のレガシーとして保存にはできる限り支援して参りたいと思います。」（以上理事長挨拶抜粋）

ここで本プロジェクトのスタート時の状況を紹介しましょう。

2017年10月に、茗溪会会員の方から、同窓会の帰りに占春園に寄って見たが、立入禁止で中に入らず、残念だったというご意見と共に、園を整備できないかとの要望を頂きました。これを機に、筑波大学東京キャンパスにお伺いしたところ、国際オリンピック委員会（IOC）トーマス・バツハ会長が東京キャンパスで講演され、筑波大学名誉博士号を授与された後、占春園にある嘉納治五郎像を拝見したいとのご要望があったものの、園は荒廃が進み立入禁止となっていてご覧頂けなかったことを知りました。こうした状況を勘案し、2017年11月に「占春園再生プロジェクト」を立ち上げたところです。

◇来賓ご挨拶

続いて、ご来賓の筑波大学清水副学長様、続いて石野前副学長様にご挨拶を頂きました。

清水副学長様からは、お祝いのお言葉とともに、占春園のあるこの地は筑波大学としても非常に重要な場所であり、1989年の社会人夜間大学院開設以来、企業経営や心理、スポーツ・プロモーション等、様々な社会人を対象にした大学院等があり、とても隆盛しているところのご紹介がありました。



清水副学長

また、清水副学長様は昭和42年から附属小学校に入られていたということで、ヤンチャな同級生達に占春園でザリガニ釣りをして池に落ちて泳ぎ保健室で着替えたこと、自然観察のクラブなどでは、



石野前副学長

理科の実験で光合成の様々な実験結果を葉っぱひとつひとつを見ながら観察したのを50年を経て覚えておられるそうです。こうした体験の記憶は、人生を彩るもので、あの地に行けばあのようなことがあったのだというところで、占春園はそういった中でも非常に長い歴史、それから一人一人の生活の中での歴史に大変印象深く残るものだと思います。清水副学長様からは、これから150年を超えて続きますが、この緑豊かな地を大事にしていきたいながら、かつそこを中心にして筑波大学が、世界及び日本の皆様と通じていけるような環境を提示できればと思っています。大学としても今後ますます関係を深くして、占春園として茗溪会とこれから先も関係を続け、より良い環境、教育・研究環境を豊かにしていきたいところのご表明がありました。

続いて、石野前副学長様からお祝いのお言葉を頂きました。

石野様は平成29年に筑波大学に着任された際に江田理事長に会い、「石野さん、占春園を知っているか。バツハ会長が行きたいと思ったのに行かれなかった」というお話を聞かれたそうです。早速、石野様が見に行こうとされたところ、ヘルメットをかぶっていかねければならぬような厳しい状況だったとのことでした。

石野様はこの3月まで筑波大学の施設担当副学長をされ、筑波大学、東京キャンパスの関係者の調整・連携を進めて頂き、プロジェクトの推進にご協力を頂きました。ご挨拶の中で「江田理事長のイニシアティブでプロジェクトを立ち上げて頂き、多くの方の寄付あるいはいろいろな知恵の賜物で今日に至ったと思っています。私は3月に

筑波大学を退職しましたけれど、今日をもって無事に筑波大学全体を卒業できたということで、感謝申し上げます」とのお言葉を頂きました。

お二人のご挨拶の後、「占春園再生プロジェクト」に伴う園内の増加資産等につきましての目録を、茗溪会江田理事長から清水副学長様に贈呈させていただきました。

本プロジェクトは、当初、開園までの園内整備を行う計画でしたが、筑波大学の整備予算が承認され、大学の資金で開園までの整備を行えることとなりました。茗溪会で集めた寄付金は、開園後の園の美化を中心に活用されることとなります。また、本プロジェクトは茗溪会独自の活動ではありますが、筑波大学の承認の下、事業として、筑波大学との業務委託契約を締結しております。

◆感謝状贈呈

本プロジェクトの主旨にご賛同をいただきますと共に、多額のご寄付をもってこのプロジェクトの運営に大きくご貢献をいただきましたご寄付者の皆様へ感謝状をお贈りすることを紹介させていただきました。（祝賀会で感謝状をお渡しする予定であったご寄付者代表の方は残念ながら所用により欠席されました。）

寄付金の募集は、2017年9月にご案内を季刊誌「茗溪」に掲載し、寄付募集に対するアンケートを実施させて頂いたところ、11月には500人以上の会員様から700万円以上の寄付の承諾を頂き、その後2018年1月から寄付金の振込を開始して、2ヶ月で1000万円を超える寄付を頂いております。

続いて、茗溪会井口副理事長より自治体等関係者として海老澤敬子文京区議会議員様、大学関係者として佐々木昭弘筑波大学附属小学校副校長様に感謝状をお渡しさせて頂きました。

文京区の関係者の方々には本プロジェクトについて様々な調整・御協力を頂いています。特に本会員である海老澤敬子文京区議会議員様には早い段階からご協力を頂きました。



佐々木昭弘筑波大附属小副校長へ感謝状贈呈

て公園課にご挨拶をしております。

文京区教育委員会には「かいばり講座」の後援をお願いしました。また、かいばりの実施に際して、一般の方からの池の泥の残留放射能を懸念するご意見を受けて、池の泥の残留放射能検査について教育委員会から要請があり、筑波大学ラジオアイソトープ環境動態研究センターの恩田教授に仕事納めの年末にもかかわらず検査をして頂きました。結果は問題なしでした。

占春園は、現在、筑波大学附属小学校の自然観察の場となっており、プロジェクトの初期の段階から附属小関係者のご協力を頂いています。かいばりの際に保護した魚等の在来種についても、ご協力を頂き附属小プールの中で飼育し後に池に戻しました。

なお、季刊誌「茗溪」2019年春の1101号で、「落英池のかいばり」について茗溪会理事の西川綾子様が、占春園と茗溪の歴史について「占春園覚書」として筑波大学人文社会学系伊藤純郎教授が紹介されています。

次に、茗溪会井口副理事長より、IOCバツハ会長への案内状の独語翻訳をお願いした筑波大学生の具志堅航平様とHerr Michael Paulick様、占春園の扁額の揮毫をお願いした筑波大学院生の剣持翔伍様に感謝状をお渡ししました。

本プロジェクトスタート時の経緯もあり、占春園の整

備完了をIOCバツハ会長へお知らせし、再生した占春園を訪問して頂き、嘉納治五郎像をご覧いただくための案内状をお送りしております。

この案内状の翻訳については、筑波大学で独語を専攻されている具志堅航平様とHerr Michael Paulick様2人の学生の方が手を挙げていただき、筑波大学伊藤眞教授のチェックをいただいて完成しております。案内状は、筑波大学真田久教授にお願いいたしまして、日本オリンピック委員会(JOC)経由でバツハ会長へお送りいただきました。

続いて、占春園の門に掲げる扁額の揮毫をお願いした剣持翔伍さんに、井口副理事長より感謝状をお渡ししました。

この度の再生事業では、占春園を「和風庭園」に近づけることを目標にしており、その中のポイントの一つは「門」の設置と「園名」の表示でした。

趣のある杉皮葺の門を設置できたことから、念願の「園名」を扁額として掲示することが可能となり、その揮毫については、現在、既に「書」で有名な先生へのご依頼ではなく、将来に可能性を秘めた筑波大学の学生の方をお願いしたいと考えました。鈴木名誉教授にご相談したところ、中村教授を通してご紹介をいただきました方が、剣持翔伍さんです。

剣持翔伍さんは筑波大学博士後期課程3年（芸術専攻書領域）で「隸書」（れいしよ）をご研究されておられ、この秋には北京に国費留学をされるという将来を嘱望されている方です。

◆乾杯

ここで「茗溪創基150年事業」委員長 河本武理事よりご挨拶に続き、乾杯となりました。

河本理事から、明治5年から数えて2022年が150年になるのでその時に式典を開催する準備をしていること、また「しっかりした編史はバイブルである」という言葉がありますが、そういうバイブル的存在の創基150年誌を作りたいというお話がありました。また、それにはお金



河本理事による乾杯

が必要であり、1億円を目標にして寄付金の募金活動を展開していくとの表明がありました。

こうした150年事業の先駆けとして、「占春園再生プロジェクト」が完成したということで、これをお祝いして乾杯の音頭をとって頂きました。

この後は、暫くお食事、ご歓談のお時間となります。

◆占春園再生プロジェクトの説明

お食事中の時間を利用して、茗溪会事務局岩田敏昭さんより、かいほりや再生された占春園の様子について映像とともに紹介がありました。ここでは鞍馬石の「手水鉢」を紹介します。

整備される前の園の敷の中に放置されていた石が、鞍馬石の蹲踞（つくばい）であることをプロジェクトに参加した庭の専門家が発見されました。鞍馬石といえは、京都龍安寺に徳川光圀公が寄進した「知足の蹲踞」が有名です。義弟に松平家の屋敷としてこの地が下賜された時、当時江戸で珍重された京都の鞍馬石の蹲踞を合わせて贈ったとしても不思議ではありません。

続いて、「占春園再生プロジェクト」の実務的なリーダーとして活躍された西川理事より本件事業のご報告と今後に向けての提案を頂きました。

「理事の西川です。普段は水戸市植物公園（園長）と、それからイングリッシュガーデンの管理をボランティア

200名位と一緒にやっております。占春園は水戸藩の絡むお庭なので、水戸で活動している私はこのプロジェクトにぴったりだなと思い、お導きかなと思って一生懸命やらせていただきました。

このプロジェクトを始める前に、私、公益社団法人日本植物園協会で副会長をやっているのですが、小石川植物園の園長さんだった方とか、日本庭園の会長他の有識者の皆様を呼んで、「一緒に日本庭園観ませんか？」と言って連れて行ったのです。占春園を見学した方々から、日本庭園ではあり得ない植物ばかりだ。とにかく木を切れと言われました。皆さんの意見を総合してプロジェクトを開始しました。

どの木を切るかは、今日いらしている鈴木雅和先生（筑波大学芸術系教授）と日本庭園の会長さんに付き合って頂き樹木調査をして、切るものをテーピングしました。東京都のお友達に都内のよい造園業者をお聞きし、オリンピックを機会に社会貢献を目指す組織があると紹介されました。それが今回お願いした日本造園組合連合会で指揮をとっていた井上花子さんという女性がいらっしゃるんです。世界中の日本庭園を作っている方で、中国に行っている今日はお休みですけども、その方々に頼みました。



西川綾子理事

海老澤先生のおかげで文京区の皆さんと一緒に1月に池の掃除をして、2月から何回か木を切つて明るくなりました。嘉納治五郎先生のところ

頂きましたが、先輩方は嘉納治五郎先生の前で記念写真をお撮りになると聞いて、石段にしておくのいいと考えました。お願いした野村さんは江戸時代から続く造園の方で、石で有名な方です。そういう本場にプロのプロが積んでくださった石なんですね。野村さんから占春園の碑のところは名人が積んだと教えて頂きました。確かに石が真っ直ぐになっていて、これは名人の仕事だなあ

って思います。竹垣も名人の作で、名人をたくさん連れてきて頂きました。

庭の門は、日本庭園は結界があるから門がないとだめだとか、長野でフェアがあり、庭の門を展示していて、それを寄付してあげるとか、そういう善意ある皆さんのおかげで、庭の形ができました。門があったら今度占春園って書かないといけないよねって、ということで剣持さんをお願いして、あそこに素晴らしい門と扁額ができました。庭園らしくなってこの日を迎えられる本当によかったと思っています。

皆様、庭というのはきれいになってからがスタートで、これが終わりではないです。それで私は二つお願いがあります。一つが現場を指揮して下さった井上花子さんからのメールで、四月に占春園に行きましたら、木を切つて明るくなったから山吹の花がいっぱい咲いていたんです。山吹の花が咲いて桜も残っていたのがあって、桜と山吹の花びらが池に映って、それは何か異空間みたい。それで花子さん曰く、山吹のお茶会をやってはいかががでしょうかっておっしゃっています。

これから、きれいになった庭園をいつまでもきれいにさせる継続的な仕組みを作らなくてはいいけない。草刈りどうするか。分かり易く言えば、占春園を愛する会など、あとは何か教室を開いて、そこで山吹の花の中で日本庭園の技を磨きませんかみたいなワークショップもいいでしょう。あと水戸藩の歴史を調べると、小石川後樂園が光圀とそのお父さんの頼房が造った庭、その義理の弟の庭が占春園、これをペアで売り出したら面白いですから、東京都の公園協会に声をかけたら良いと思うのです。

そういったワークショップをするには、地域の皆様に参加していただかないといけないので、文京区役所の皆さんと文京区の議会の皆様にはこれからも応援していただいて、占春園の美しさを持続可能なものにする仕組み作りを、皆さんと一緒に始められたいと思います。

二つ目ですが、占春園に行く時に、右手に白松といって木肌が凄くきれいな松らしくない松があります。そこはまだ手が入っておらず危ないので、枝を切り草を刈って土止めをきれいにしたいと個人的には思っているの

す。自分が関わっている間に機会があれば、声かけていただければ、何かしらお役に立てるのではないかと思います。

ボランティアを育成してあの占春園が皆に愛される庭園になるように、今後、3年の間に恰好をつけないと、すぐ落ちていくと思います。私ボランティア組織を作るのは得意で、水戸ではとても上手くいっておりますので、ただ働くだけではなく、学習させて、そこで生きがいを与える。そういうような仕組み作りをすれば、きつと治五郎先生も自他共栄できる契機として喜んで下さるのではないかなと思っております。

今日は関係者の皆さんが勢ぞろいなので、是非一致団結して占春園を皆さんで愛していただき、そして元氣が出るように、一緒にこれからスタートということで始めさせていただければと思います。今後ともどうぞ皆様よろしく願いたします。」(以上西川理事挨拶抜粋)

◆来賓挨拶

筑波大学元学長である北原保雄様からご挨拶を頂きました。「明鏡国語辞典」の著者としても有名でいらつしやいます北原様は、1998年4月〜2004年3月まで筑波大学学長をお勤めになりました。



北原保雄元学長

「占春園の完成おめでとうございます。すっかりした江田リーダーとそれを支える色々な方が茗溪にはいらつしやる訳で、そういう人たちが協力して素晴らしい庭園が再生されたこと

を嬉しく思います。

おめでとうございますというよりは有難うございますという方です。私は昭和31年に東京教育大学に入学して博士課程まで合わせると9年くらいあそこで過ごしましたが、園に一番近いのがE館で3階が私の部屋でした。

入学のときの記念写真も占春園で撮りましたし、暇があれば園に伺いました。懐かしいです。占春園は私の青春と一緒にですね。大学は学長を6年やって68まで勤めました。学長のころには茗荷谷に来ますと園に寄って嘉納先生の銅像の前で、語り合うような気持ちでお話しておりました。

占春園に近いG館を2010年に取り壊す際の「思い出の会」で記念講演をした時のメモに「占春園は残したい」と書いています。園を大事にしたい気持ちはあるのですが、どうしても大事にできるのか大学としてはあまりそういうことは考えなかったのです。教育大学は同窓会のもとで、敷地の思い出を茗溪会にお願いしなければいけないのかなと思っております。

再生した園は、京都の料亭の前庭のような竹垣ができてきれいになりましたが、庭園は維持するのが大変です。是非若い方も上手に守って頂きたいと思います。よろしく願いたします。今日は本当におめでとうございました。」(以上北原先生挨拶抜粋)

◆バツハ会長への御案内状紹介

占春園整備完了の晩には、IOCバツハ会長へ案内状をお送りすることが、本プロジェクト関係者の一つのモチベーションでした。筑波大学の伊藤眞教授と学生の具志堅航平様とHerr Michael Paulick様に案内状を紹介して頂くとともに、学生様お二人に挨拶をして頂きました。その後、バツハ会長から案内状の返信を頂いていますので、ご紹介します。

筑波大学

茗溪会会長殿

次回日本への訪問時における占春園と嘉納治五郎像へのご招待、誠にありがとうございます。

私のスケジュールが許せば、筑波大学にぜひ戻りたいと思います。

占春園復興プロジェクトが東京2020大会一年前に終了されたことは実に素晴らしいことであり、嘉納治五郎先生の功績を称えることで、喜ばしいことだと思いま

す。

また、筑波大学がオリンピックスタジアムに深く関わり、発展させていくことに心より感謝申し上げます。

近いうちにお会いできますことを楽しみにしております。

2019年7月29日

敬具

トーマス・バツハ

◆占春園揮毫紹介

揮毫いただきました「書」の現物をお披露目させていただきます。剣持様から説明して頂きました。

扁額の文字は、隸書という紙幣の文字にも使われている古代の文字で格式のある文字を使用しています。ご指導いただいている中村信夫先生のご助言のもと、隸書の中でも唐代の書風を用いたとのこと。唐の書というのは豊かな時代を反映して、非常に豊かな力強い書風を持っており、豊かな時代になるという事をイメージしながら、書いて頂いたとのこと。

後日、この文字を、書の博士課程を修了された先輩である安城さんに「刻字」(こくじ)木の板に彫る)していただき、扁額(へんがく)として門に掲げます。

以上で、占春園再生プロジェクト完成祝賀会を閉会とさせていただきます。

(文：茗溪会理事

宮尾 徹)



令和元年

「追悼のつどい」

茗溪会館で開催

「追悼のつどい」は、今年は茗溪創基150年記念事業として、大塚の茗溪会館において、9月28日(土)に開催されました。

昨年から本年夏までにご逝去された会員のご遺族の方々に連絡いたしましたところ17家族、27名のご参列をいただきました。本会からも多数の理事・委員が参列しました。遺影のみの参加の25名を加えて42名の遺影が飾られた式場で午前11時に開式され、参列者一同が遺影に黙祷後、江田昌佑茗溪会理事長が「追悼の辞」を述べられ、筑波大学長代理として出席された佐藤忍副学長が来賓の挨拶をされました。その後、一同が献花し、式は終了しました。

式典終了後、茗溪会館写真スタジオにて集合写真撮影の後、場所を二階「茗溪の間」に移して12時より14時まで「懇談会」が開催されました。江田理事長の挨拶のあと、著名な演奏家である山形由美さん(故山形和美氏のご長女)によるフルートの追悼演奏「精霊の踊り」が披露されました。その後、懇談の席がもたれ、ご遺族の皆様からスピーチをいただきました。以下にその一部を紹介いたします。誌面の都合上、全ての方をご紹介できませんことをお許し下さい。

故・鈴木 等(昭和26年高師理四)

奥様 鈴木尚子様



私のところは夫・長女・孫の三代にわたり茗溪にお世話になりました。夫は終戦直後、花巻から上京し勉学でも大変不便をし、勉強するための明かりを求めて終電まで山手線の中で勉強をしたこともあるそうです。

娘は筑波大学の早期で、移動手段として長靴や自転車は必需品だったようですが、今の孫の筑波大学とは雲泥の差があるようです。夫は3代で同じ学校に通ったのは珍

しいので、3人で筑波に行ってみたくかねがね言っていました。3人でも叶いませんでした。今回は夫に「お前が行って来い」と言われているようでした。

故・中西 章(昭和27年高師理二)

奥様 中西京子様



私たち夫婦の結婚式は茗溪会館でした。当時夫に夜の占春園に連れて行かれ、真つ暗な中で占春園のプールを見せられました。そういうことで、新しくなった占春園には是非行ってみたいです。夫のこの学校での良い先生、先輩、友人との青春の素晴らしい一頁を心から感謝したいと思います。

故・山形 和美(昭和34年院修英)

奥様 山形幸子様



夫が教育大の英文科の修士に在学中に日本で「世界ペンクラブ」があり、世界中の有名な作家などが集まりました。その時に夫と私の兄が通訳を頼まれ、その縁で知り合い、夫が修士論文を書く時に学生結婚をしました。夫は娘のフルートが好きで「俺が死んだらフルートで『精霊の踊り』を吹いてくれ」と言っていました。娘は葬儀の時にはとても吹ける状態ではなかったのですが、本日はこのように演奏ができて、さぞかし夫も喜んでいいると思います。

故・宮里 勝(昭和27年高師理四)

次女 宮里香弥子様



父の高師の時の話はあまり聞いていませんが、アルバイトをしながら通学していたようです。また学校からお小遣いをもらっていたというようなことも言っていました。この茗荷谷近辺は思い出の多い街で、父はしょっちゅう散歩をしていました。父をこのような場所まで皆様と一緒に追悼できるのがとても良かったです。

故・中嶋 正躬(昭和28文理大國史)

長女 太田真理様

父は東京文理大を出た後、東邦高校で教鞭をとって



ました。その後、郷里の鳥取に戻り、高校教師をしながら私たちを育てました。当時はない物を皆で分け合った時代でしたが、心の豊かな時代でもありました。父は退職後70位から短歌を嗜んでいました。私が大学時代に悩んでいるときに手紙で「青春はエネルギー発散の時ではなく、英知の蓄積の時だ」と言ってくれたことがあります。今日は父が学生時代にこの空気を吸って、辛ければ明るく前向きに青春時代を闊歩していたこの場所、皆様と一堂に集うことができたことを感謝したいと思います。

故・若宮 粂子(昭和41年教大農学)

長女 若宮早百合様



私の母は教育大卒、妹は筑波大卒で結婚相手の義弟も筑波大卒なので、我が家の茗溪会率は上がっています。母は卒業後、教育大の職員をしていましたが、その後、小学校の先生になりました。母は油絵を描くのが趣味で、占春園の絵が長年リビングにかけられています。その絵も一時不幸なことがあった時に黒く塗り潰されましたが、その後、修復されて今日に至っています。今日の帰りには是非その占春園を覗いて帰りたいです。

故・小池 清治(昭和39年教大國)

長女 小池以寿美様



私はかつて大学受験のため東京で連泊することになり、父の勧めで旧茗溪会館に宿泊したことがあります。その当時のエレベーターはアナログ指針式階数表示のあるクラシックなものでした。父は、かつて自分が先生や先輩方からしてもらったように、生徒たちを教育したい。同じように学校を好きになってもらいたい。同じように面白いなと思って勉強してほしいと考えていました。父は大学に行つて国語の先生になって、本当に生き生きと幸せに過ごしているのだと思いました。そして最後まで何かに貢献したいという思いが強かったようです。

令和元年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
筑波大	清 水 論 (59筑体)	立 山 雅 博
北海道	川 口 淳 (58筑修教)	尾 形 友 秀 (05筑体) 鵜 野 和 憲 (07筑体)
青森	前 田 濟 (59筑一自)	工 藤 誠 司 (09筑体) 五十嵐 喜代敬 (09筑体)
岩手	佐 藤 有 (57筑二農)	清 水 茂 幸 (59筑体) 上 濱 龍 也 (62筑体) 澤 村 省 逸 (62筑体)
宮城	齊 隆 (57筑一自)	土 生 善 弘 (62筑体) 山 崎 健 二 (02筑体)
秋田	木 浪 恒 二 (58筑体)	戸 嶋 幸 子 (14筑体)
山形	津 田 浩 (51筑一自)	鳥 羽 聡 (09筑体) 羽 角 哲 弘 (05筑体) 芦 野 浩 二 (07筑一自)
福島	大 沼 博 文 (56筑二人間)	森 和 茂 (59筑一自) 日 高 郁 子 (58筑一自) 大 槻 文 彦 (10筑一自)
茨城	高 村 祐 一 (61筑一人文)	太 田 泰 助 (11筑修芸) 竹 内 智 則 (10筑修教)
栃木	若 杉 俊 明 (57筑一人文)	今 井 和 彦 (06筑一自) 百 瀬 亨 (09筑二日日)
群馬	高 橋 浩 昭 (62筑一人文)	青 木 忠 人 (59筑一自) 菊 池 義 幸 (58筑二人間) 上 村 弥 也 (28筑博数物)
埼玉	前 島 富 雄 (47教大木工)	青 木 勇 藤 (55筑一人文) 山 本 健 敬 (59筑一自) 鈴 木 徹 也 (58筑一自)
千葉	百 瀬 明 宏 (55筑一人文)	大久保 利 宏 (30筑修人総) 大 木 喜 信 (07筑一自) 田 口 亜紀子 (08筑一自)
東京	高 橋 基 之 (53筑一自)	徳 田 安 伸 (55筑二農) 浅 井 一 郎 (55筑一人文)
神奈川	大 畑 多津雄 (52教大理)	大 石 進 (56筑体) 添 野 龍 雄 (57筑二農) 中 弥 貴 晴 (49教大農化)
山梨	松 坂 浩 一 (58筑体)	青 野 孝 文 (09筑二生物) 川 崎 あすか (20筑一自)
長野	北 村 桂 一 (59筑体)	北 野 享 (56筑体) 大 谷 隆 典 (59筑二生物) 麥 嶋 英 美 (12筑芸)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
新潟	中 島 郁 雄 (53筑体)	夏 見 康 彦 (02筑三情)
富山	福 島 英 晴 (57筑三情)	寺 崎 啓 子 (60筑一社) 安 村 良 紀 (18筑三工基) 箱 江 典 子 (23筑博数)
石川	田 井 友 章 (59筑体)	松 本 彰 (50教大体) 神 田 康 (15筑体) 近 岡 岳 則 (17筑二人間)
福井	金 崎 肇 (59筑一自)	橘 慶 成 (08筑芸) 松 田 充 弘 (14筑一人文)
静岡	齊 藤 浩 幸 (58筑二農)	綾 部 信 明 (58筑体) 遠 藤 大 貴 (27筑修教) 鈴 木 由美子 (61筑一自)
愛知	村 松 利 之 (53筑体)	高 畑 尚 弘 (58筑二生) 向 坂 嘉 一 (04筑体) 米 津 利 仁 (04筑二農)
岐阜	大 橋 則 雄 (57筑二人間)	増 田 智 至 (63筑二農) 蒲 尚 胤 (02筑一人文)
滋賀	町 田 登 (47教大健)	藤 江 隆 史 (08筑体) 松 林 基 之 (07筑体) 桂 本 尚 樹 (62筑体)
三重	阿 形 克 己 (57筑体)	若 宮 一 哉 (06筑一自) 加 藤 英 紀 (15筑一自) 山 北 正 也 (03筑一人文)
京都	川 合 英 之 (56筑体)	川 合 寛 明 (59筑体) 遠 山 秀 史 (61筑一自) 奥 村 典 夫 (61筑修教)
大阪	松 本 秀 範 (53修林)	戸井田 克 己 (59筑二比) 北 邨 淳 (19筑体) 大 橋 一 郎 (62筑体)
兵庫	升 川 清 則 (59筑体)	西 岡 大 輔 (11筑体) 小 林 奈生子 (28筑体)
奈良	谷 垣 康 (53筑一人文)	井 上 徳 之 (58筑一自) 岩 佐 泰 造 (13筑体) 栗 本 善 弘 (10筑体)
和歌山	川久保 尚 志 (62筑二生)	川 口 勝 也 (01筑体) 岡 本 規 (05筑体) 前 了 斗 (24筑体)
鳥取	小 倉 健 一 (53筑体)	美多賀鼻 孝裕 (10筑体) 出 雲 大 輔 (24筑体)

	代 表 者 (卒年科)	事 務 局 担 当 者
島根	境 英 俊 (59筑修体)	西 村 覚 (01筑修体) 塚 田 真 也 (21筑博数理) 清 水 悠 (22筑体)
岡山	長 尾 隆 史 (55筑体)	黒 住 伸 吾 (56筑体) 水 川 敬 介 (63筑体) 近 藤 真 妃 (06筑体)
広島	山 成 宣 彦 (40教大健)	大 辻 明 (47教大体) 山 下 勝 也 (58筑体) 井 藤 幹 治 (55筑体)
山口	吉 本 晃 (54筑二人間)	藤 本 秀 夫 (15筑修体) 二 木 直 人 (24筑体) 原 田 正太郎 (27筑体)
徳島	小 原 史 明 (59筑二農)	池 渕 茂 (58筑二比) 北 條 伸 吾 (62筑一人文) 田 北 直 樹 (05筑体)
香川	山 本 主 税 (01筑一人文)	河 合 雄 太 (07筑体)
愛媛	八 木 俊 博 (57筑体)	星 川 志 朗 (61筑修教) 山 本 隆 祥 (07筑体) 森 川 大 和 (16筑二人間)
高知	下 坂 速 人 (53筑体)	手 林 慎 一 (10筑博農) 山 本 英 作 (03筑二比) 野 田 智 洋 (62筑体)
福岡	永 沼 真 紀 (57筑体)	稲 富 勉 (61筑体) 片 山 英 和 (10筑体)
佐賀	松 雪 誉 (61筑体)	山 田 和 人 (05筑体)
長崎	渡 邊 孝 経 (59筑体)	吉 村 史 朗 (12筑一人文)
熊本	赤 星 隆 弘 (58筑体)	田 口 智 之 (09筑体) 横 田 葉 子 (10筑体) 上 田 晃 裕 (14筑体)
大分	渚 洋 行 (53筑体)	田 崎 弘 宣 (63筑体)
宮崎	川井田 和 人 (53筑体)	児 玉 洋 一 (02筑三社工) 川 内 健 二 (16筑二比) 森 山 あゆみ (20筑二資源)
鹿児島	二 石 松 彦 (57筑一人文)	鹿 倉 貢 (57筑体) 岩 元 貴 行 (08筑修芸)
沖縄	前 門 晃 (58筑博理)	三 輪 一 義 (02筑修体) 古 堅 小百合 (12筑修理) 漢 那 洋 子 (63筑一自)

令和元年度 茗溪会学生生活動支援事業採択団体等一覧

	団 体 等 名 称	対 象 事 業	支援額 (千円)
1	筑波大学将棋部	第5回つくば小中学生将棋大会	30
2	筑波大学体育会 オリエンテーリング部	第39回筑波大学オリエンテーリング大会	100
3	筑波大学バトミントン部	インターフロー	80
4	筑波大学体育会硬式庭球部	筑波大学MEIKEIオープンテニス	110
5	体育会女子ソフトボール部	合同合宿	90
6	筑波大学体操部	第16回世界体操祭2019における体操演技発表並びに国際交流	120
7	筑波大学管弦楽団	第86回定期演奏会	90
8	筑波大学応援部WINS	筑波大学の体育会所属団体の応援活動、スポーツデーや宿舍祭などの学内行事の広報活動、食と酒東北祭やつくばFCなどのつくば市内のイベントへの参加やつくば市内のスポーツ団体の応援活動	100
9	つくばロボットサークル	ロボットコンテスト参加に向けた活動、および会員間での技術交流、未経験者に向けてのワークショップ	100
10	学び場さくら塾	学び場さくら塾	100
11	筑波学生文芸賞運営委員会	第12回筑波学生文芸賞	90
12	HSCaT	筑波大学学生宿舍周辺に生息する猫の養育・管理	80
13	筑波大学学園祭実行委員会	第45回筑波大学学園祭「雙峰祭」	200
14	筑波大学陸上競技部 長距離ブロック駅伝チーム	筑波大学箱根駅伝復活プロジェクト	150
15	食と酒 東北祭り	第6回食と酒東北祭り	110
16	ふるさとつくば ゆいまつり実行委員会	第9回ふるさとつくば ゆいまつり	90
17	つくばミュージックプロジェクト	筑波大学学園祭LIVE2019	110
18	つくばリサイクルシリーズ 実行委員会	つくばリサイクルシリーズ	100
19	つくば院生ネットワーク(TGN)	筑波大学内外における異分野・科学コミュニケーションの創発	100
20	漕艇部	第1回土浦桜川親水フェスティバル（併催第45回筑波レガッタ）	70
総 額			2,020



茗溪会学生生活動支援事業

助成金
2015円
を交付！

去る8月2日、学生生活動支援事業選考委員会（委員長：阿江副理事長）が開催され、20件の申請があり申請とおり全件が採択されました（表参照）。これを受けて、8月9日、目録贈呈式が総合交流会館で行われ、江田理事長から佐藤副学長に目録が贈呈されました。その後、同室において、採択された団体等への助成金決定通知書交付式が行われ、採択された団体等の代表から受賞の喜びが述べられるとともに具体的な活動内容が紹介されました。続いて、交付式参加者による記念の集合写真等の撮影が行われ、出席者全員による茶話会が催されました。

学生生活動支援事業は、筑波大学の学生団体又は個人が課外活動として取り組んでいるイベント等の企画に対して、計画段階で審査し助成金を支給するものです。これは健全で優れた成果が期待されるスポーツ、芸術、文化活動、ボランティア、地域貢献等の学内におけるサークル活動やNPOを含む学外での活動が対象になっています。

また、この事業は、昨年度から原則として大学その他から支援を受けていない団体又は個人を優先すること、申請する団体の構成員又は個人が茗溪会員であるかどうかや、申請団体の構成員の入会率を考慮すること、また、支援の必要性や社会・地域・大学運営への貢献度を評価することなどの各項目に留意して総合的に判断し選考されています。

令和元年度

茗溪会学生生活活動支援事業

採択団体の紹介

◆筑波大学将棋部

筑波大学将棋部は、毎年山の日（8月11日）につくば市で小中学生を対象とした将棋大会を開催しています。2012年に突風被害を受けた北条の活性化のために開催されたのがこの大会の始まりで、当時は地域振興の要素が強かったのですが、最近では茨城県外からの参加者が増え、大会の規模やレベルも上がっています。準備から当日の運営に至るまで基本的に将棋部員が行なっておりますが、OB・OGの方々のご協力も大歓迎です。興味がある方は是非つくば小中学生将棋大会のHPなどを覗いてみてください。

◆筑波大学体育会オリエンテリング部

体育会オリエンテリング部は、オリエンテリングの技能、精神を習得することで自己を高めていくとともに、オリエンテリングの普及や発展を目指して活動しています。昨年度のインカレリーグでは、女子チームが見事日本一を達成するなどここ最近力をあげてきています。支援をいただいた今年度の「第39回筑波大学オリエンテリング大会」は、12月1日に石岡市で競技の発展・普及と地域貢献を目標に開催いたします。体験会も開催されるためぜひ大会に足を運んで見てください。ご支援ありがとうございます。

◆筑波大学バドミントン部

①異文化理解とそれに伴う自文化の相対的理解、②筑波大学体育学による知識や経験を活かし交流の中でその成果を発揮すること、③学生自身の英語能力向上を主な目的として香港大学バドミントン部と毎年の交流を40年近く続けております。今年は香港での開催年であり、香港大学には交流試合や観光など様々な活動を企画していただき手厚くもてなしていただきました。部員達も英語によるコミュニケーションに苦心しながらも交流を深めさらなる友好を築くことができたと感じております。今後この交流活動を継続し、国際的視野を持ち続けていき

たいと思います。

◆筑波大学体育会硬式庭球部

筑波大学MEIKETIオープンテニス大会実行委員会、体育会硬式庭球部の有志団体です。この実行委員会を中心に部員全員で、日本では数少ない、男子プロテニスの国際大会を運営しております。この大会の大きな特徴は、学生が主体となって運営しているという点です。具体的には、大会資金集めやイベントの企画、当日の大会運営なども学生が中心となって行っております。一人でも多くの皆様に注目していただけるような大会を目指します。ご支援・ご声援のほど、よろしくお願い致します。

大会ホームページ：<http://meketopen.jp/>

◆体育会女子ソフトボール部

私たちは現在、リーグ戦での二部優勝・一部昇格という目標に向け日々練習に励んでいます。部員は現在20名と多くはありません。経験者が半分にも満たない中で、様々な学群の学生が集まり練習に取り組んでいます。練習場である春日のグラウンドは、以前は多目的グラウンドで競技をするには整備が必要な状態でした。しかし、顧問の木塚先生をはじめ、多くの方々のご協力のおかげで今練習に励むことができています。この感謝の気持ちを忘れずに、これからも精進して参ります。今後ともご支援、ご声援のほどよろしくお願い致します。

◆筑波大学体操部

私たち体操部は、日々の活動の中で体操の基本的な動きを高めるとともに、用具の特性を生かした動きを創作し、音楽に合わせた体操の発表を行っています。近年Gボールやラート等を用いた独創的な発表作品は国内外から高い評価を得ており、4年毎に開催されている世界体操祭2019へ日本代表チームとして参加し体操を披露してきました。また、世界体操祭以外の国際イベントへの出場機会も増え、2年に1度ほど海外で体操の発表を行っています。今後も筑波大学の体操を国内外に普及させるよう積極的に取り組む所存です。

◆筑波大学管弦楽団

1974年創団。団員100名を擁し、筑波大学で最大規模を誇る課外活動団体の1つです。毎年2回の定期演奏会とプロムナードコンサートを活動の中心としています。ほかに、各パートでのアンサンブルコンサート、依頼演奏、大学の卒業式・入学式における演奏なども行っています。常任指揮者を置かず、演奏会にはプロの指揮者を招いており、団員の演奏技術・音楽性の向上のためトレナーの指導を受けながら、地域の音楽文化の発展に貢献しようとする団員一同精力的に活動しています。

◆筑波大学応援部WINS

我々筑波大学応援部WINSは、筑波大学を元気にすることを目的として活動しています。先頭に立ち観客の最も近くで応援を先導するリーダー部、弾ける笑顔と元気なダンスで選手を鼓舞し観客に笑顔を届けるチアリーダー部、会場全体を巻き込む演奏で応援の雰囲気を作り出し選手の背中を後押しするアンサンブルバンド部の三部で力を合わせ、総勢80名で1つの応援を作り上げています。活動としては、体育会応援、学内外のイベントの広報やステージ応援、そして雙峰祭や単独公演である桐華祭（来年1月25日）での演目披露などを行っています。

◆つくばロボットサークル

私たちのサークルは、ロボット開発プロジェクトを通してロボットに関する技術、モノづくりに対する興味関心の向上を目的として活動しています。現在は来年の5月に行われるABUROボコンの日本代表選考会のための機体を設計、作成しております。今年の競技はロボットにラグビーをさせるということでスポーツが強い筑波大学の特徴を生かすため、工学分野を超えた多方面の人たちへ積極的にアプローチしていきたいと考えております。筑波大学の7年ぶりの出場を実現するべく会員一同闘志に燃えています。

◆学び場さくら塾

学び場さくら塾は、地域の小学生から高校生を対象に週に3回無償で学習支援を行うボランティアサークルです。私たちは「子ども達のためになることを一つでも多くする」「筑波大学と地域をつなぐ」という二つの理念を掲げ活動を行なっています。普段の活動に加え、年に一回の合宿や不定期に理科実験教室・特別授業などのイベントも行っています。子ども達の良き居場所として、今

後も活動が続けていきたいと思います。

◆筑波学生文芸賞運営委員会

つくば市に在住する・またはつくば市に拠点を置く大学の学生から小説を募集し、選考を経て決定した受賞作について、これらを掲載した冊子を筑波大学の学園祭において無料配布しています。昨年度より新たに『テーマ部門』という枠組みを増やし、昨年は「宇宙」に、今年は「未来」というふうにより例年つくばに因んだテーマを設定しています。このように広く一般の学生を対象として文芸作品を発表できるような機会をつくば地域において設けることで、豊かな感性を持つ学生たちの活躍の場を提供できると考えています。

◆HSCaT

私たちHSCaTは平砂・追越、一の矢学生宿舍周辺に住みついてしまった猫たちを保護・管理しながら、猫を「優しく減らす」ために活動しています。新たに発見された猫がいたら避妊去勢手術を施し、人目につかないところでサークルの管理の下、世話をします。多くの筑波大生が住む学生宿舎には猫が好きで人だけでなく、嫌いな人もいます。そうした人たちにも猫たちが宿舎の周りで暮らすことを許してもらえよう、私たちの管理の下で猫たちを世話し、殺処分とは異なる方法で徐々に減らしていくというのが私たちの活動です。

◆筑波大学学園祭実行委員会

学園祭実行委員会は今年度より常設化され、組織体制がパワーアップいたしました。新たなステージの設置、企画を運営しやすいシステム作りのみならず、テーマソングの募集やマスコットキャラクターグッズの販売など、ブランド力の強化にも取り組んでおります。また、今年度から個人の方からの協賛もお願いしておりますので、皆様からもご協賛いただけましたと幸いです。今年度の学園祭は三連休での開催となります。11月2日(土)・3日(日)・4日(月・祝)は、全国の学園祭の中でも有数の規模を誇る雙峰祭に、ぜひご来場ください。

◆筑波大学陸上競技部長距離ブロック駅伝チーム

筑波大学陸上競技部駅伝チームは毎年1月に行われる箱根駅伝への出場を目指して活動しています。箱根駅伝

に出場するには10月に行われる箱根駅伝予選会を通過しなければなりません。私たちは日々の練習や試合、合宿など数々の鍛錬を積み重ね、予選会通過に向けて努力を続けています。箱根駅伝への取り組みを通じて、将来の長距離トップアスリートの育成のみならず、社会の様々な分野で活躍できる学生への成長を目指しています。そして、多くの方々の「再び箱根路を走ってほしい」という期待に応えられるようにチーム全員で頑張りますので、応援、ご支援の程よろしく願います。

◆食と酒 東北祭り

食と酒東北祭りは、東北自慢の食と酒をその場で味わうことのできるお祭りです。私たちは、「魅力あふれる東北」を体感できる場、人と人がつながる場を通して、東北全体の発展を願い、応援することを最大の目的としています。食と酒東北祭りの原点である、震災後の東北の人々との出会いから「東北に関心を抱き続けること」が復興への架け橋になると考えました。だからこそ私たちは震災から8年経過した今もなお「東北」こだわりのつくばに住む多くの人々に様々な東北の魅力を伝えたいと思い活動しています。

◆つくばミュージックプロジェクト実行委員会

私たちは、つくばの魅力なヒト・モノ・コトを発信しています。つくばの学生と住民が、地域の良さを互いに共有することで、①垣根を越えた関係を築くこと、②共に心豊かな暮らしと環境、空間を創出することを目的とした団体です。毎年3月につくばセンター広場で開催するお祭りも、ついに来場者数1万人近くとなりました。しかし、私たちにはまだまだ多くの課題があります。その内の1つに、企業にとつていかに魅力的な協賛プランを提供できるかがあります。より良い「場」を創出することを目指して、委員一同邁進してまいります。皆様の応援、ご支援の程よろしく願います。

◆つくばミュージックプロジェクト

私達TMPは、「つくば・茨城を音楽で楽しく」を理念に音楽好きの有志が集まり活動しています。秋の雙峰祭では、毎年プロのアーティストを招いて無料のライブを開催しており、新たな音楽との出会いの場をつくばの人々に提供しています。その他にも、TMPが主催する

学外でのDJイベントや筑波山で行われるつくばロックフェスのスタッフ、つくばのCDショップと連携してのPRコーナーの設置など、音楽に関わる様々な活動を行っています。やどかり祭や雙峰祭で屋台を出店し、その売上を主な活動資金にしています。

◆つくばリサイクルシリーズ実行委員会

ご支援いただきありがとうございます。私たちは2012年より『本格的なクラシック音楽をつくばで気軽に楽しんでもらえる環境をつくる』ことを目標に活動しています。8回目の開催となる今年度は、カルテット界の新風『カルテット・アマビレ』による弦楽四重奏をお届けします。令和の新時代に相応しい演奏が聴けること間違いなし！是非お越しください。また、コンサートの継続的な開催のために皆さまの支援をお願いいたします。『音楽の街つくば』をあなたの手から！

◆つくば院生ネットワーク(TGN)

「つくば院生ネットワーク(TGN)」は筑波大学や学園都市内の研究機関に所属する大学院生が、つくばの知見を学内および地域に発信することを目指した様々な企画を行う団体です。本年10月には、世界の若手研究者が一堂に集まる「筑波会議」において、高校生や世界で活躍するイノベーターの方々と協働したイベント、2月には「みんなの学会」というボーダーレス・ユニバーサルな学びの場をテーマに、筑波技術大学の学生とともに研究分野や障がいの有無を超えた研究交流・文化イベントを企画しています。

◆漕艇部

漕艇部は普段土浦市の霞ヶ浦と埼玉県戸田市の漕艇場を練習場所として、ボート競技での日本一を目標に活動しています。今回、茗溪会様にご支援いただいた事業は、競技とは別で行っている地域貢献イベントで、練習場所として使わせていただいている土浦市の方への感謝の意を込めてボートに乗っていただける機会を提供させていただきました。イベント(筑波レガッタ)は年々規模を大きくし、45回目を迎えた今年は90名の方にご参加いただき、無事終えることができました。最後になりましたが多大なるご支援ありがとうございました。

2019年5月31日～6月1日開催

第45回やどかり祭を終えて

第45回筑波大学宿舍祭実行委員会

委員長 村山 逸 希

(情報学群・情報メディア創成学類3年)

「祭」はじめに

今年度で45回となる宿舍祭(通称やどかり祭)は、天候にも恵まれ、多くの来場者の方々のおかげで例年にも増して活気のある祭りとなりました。企画等のパフォーマンスで激しい動きをする方々もいましたが、特に大きなけ人も出ずに会場を大いに沸かせていただきました。やどかり祭の目玉企画であるゆかたコンテストや、御輿を始めとした多くの企画なども大きな問題もなく終えることができました。1年生の多くが出店する模擬店も多くの来場者の方々に楽しんでいただけたと思います。大学に入って2か月ほどで、授業等があり多忙な状況であるにも関わらず、同期たちと協力し合い、見事な企画でのパフォーマンスや模擬店での販売を成功させた1年生たちには、祭りの活気を大いに盛り上げてもらえたと思います。祭りの成功のために努力してきた実行委員として大変安堵しています。



村山委員長

「祭」やどかり祭の運営

私たちの所属している宿舍祭実行委員は、筑波大学が建設されたばかりで、つくばの土地がいまほど栄えてなかったころに、娯楽の場として交流を行える場が欲しいという声から、新入生同士の関係をつなぐ場として「宿舍祭」が始まり、そしてその運営を行う実行委員会という形で発足しました。この発足の目的である新入生同士の交流の場を作るという方針は、今でも変わらずに私たち実行委員の作る祭りの核となっています。宿舍祭実行委員会は、筑波大学の学園祭である「雙峰祭」の実行委員会とは別の組織であり、また学園祭(雙峰祭)の実行委員会は大学組織の一部としてご活躍をなされていますが、私たちの宿舍祭実行委員会とはひとつのサークルとして活動しています。これは、学生が中心の祭りとして、学生の意思を尊重した運営を行っていきたいという思いから、この形の委員会活動を行わせていただいています。企画や発生した問題について学生で話し合っており、また新たな企画なども自分たちで考えあててきました。学生の意見を通しやすくするために行っているこの運営方法ですが、もちろん自分たち委員会だけで祭りを作ることはできません。大学に所属している様々な組織の方々や、祭りの企画や設備のために欠かせない物品をお貸しして下さる方々、祭りを運営していくうえで必要となるお金を支援金という形でいただき、支援して下さる近隣店舗や各組織の方々など、本当に多くの方々のご協力の上で祭りが成り立っています。私たち委員会としてそのような支援をして下さる方々への一番の恩返しは、全力で祭りの運営に向き合い、来場者の方々や祭りに参加して下さる方々に楽しんでいただける祭りを作ることだと、祭りの当日まで活動に取り組んできました。実際に祭り会場において、企画等で今までの練習の成果を見せてくれる参加者の方や、模擬店などで友人と協力しながら店を回したり、わいわいと楽しそうに呼び込みをしていたり、それらを見て回って楽しんでいるだけそうなる来場客の方々を見ると、今まで祭りを作するためにあれこれと頑張ってきた感じがしました。初めは新入生

同士が絆を深める場として作られた宿舍祭が、何年もかけて形を変えて、規模も大きくなり、新入生たちを中心とした祭りであるというモットーはそのままに、その他の在校生の人も、大学外からご来場の方々にも楽しんでもらえるような様々な企画、また参加できるような企画などを練って年をかけていいものにしていく。発足した時とは違って今の宿舍祭は来ていただいた人たちがみんなに楽しんでもらえるような祭りになったというのが、この40年以上の宿舍祭の歴史で大きな進歩だと思います。これからも筑波大学の宿舍祭は時代によって色々と変わった形に変わっていくという部分は変わらぬに念頭に置いて作ってほしいと思います。

「祭」やどかり祭の歴史

宿舍祭の運営の活動をしていると、よくこの委員会を始めて作った方々や、今までの宿舍祭実行委員会のOBたちのやってきたことが凄いことなんだと実感することが度々あります。まったく前例のない状態から自分たち



トーチ



御輿練り歩き

な困難を超えて活動を続け、委員会を存続させてきた先輩方の偉大さを2年間の活動の中で何度も感じました。自分たちが作ってきた今年の祭りも、今までの先輩方が築き上げてきた宿舍祭の理念などを引き継いで、新入生や近隣から来場される方々に気兼ねなく楽しんでいただけるよう努力してきました。ずいぶん前に実行委員会をやっていたという方が何人か祭りに来てくださって、この祭りを大切に思っているのだなと自分も誇らしくなりました。今後自分たちの後輩たちが脈々とこの伝統のある祭りを引き継いでいってくれたいと思いますが、その彼らにも今までの先輩方や僕たちの代が積み上げてきたものの意義ややりがいを受け取って、自分たちがどうしたい祭りができるかを考えて、また次の代へとこの祭りを引き継いでいってほしいと思っています。

で立案して見返りのない仕事を始めた初代の方々や、歴史を重ねた宿舍祭をどうすれば今まで以上の祭りを作るのができるのか、どうすれば新入生の交流の場として発展し、その他の来場者の方々を楽しませることができるとかを考え、44年もの間に様々な

「祭」やどかり祭のこれから

これから作られていく祭りについて考えると、その規模について少し考えてしまいます。筑波大学の宿舍の入居者は以前と比べ少し減少したらしく、「宿舍祭」という名前で活動を行っているのは宿舍の周辺で行われる祭りであるからで、宿舍に入居していないと参加できないなどの制限はないので、宿舍入居の減少とは直接的に関係はないと思いますが、やはり宿舍周辺で活動を行っている愛着のある自分としては、あの空間の活気が減っていくのは少し悲しくも感じます。筑波大学ができてから何年もたつて周りには学生向けの賃貸も増えたことあって大学周辺の環境とともに宿舍祭も形を変えてきて、これからの同じように変わっていくのだと思います。それでも今だに宿舍は、全国から来た多くの新入生が筑波



浴衣コンテスト

大学に入るときに自宅として選ぶ場所であり、筑波大学らしさがにじみ出ているところでもあると思います。だからあの場所で祭りを行うことも筑波らしさを味わえるので、これからもこの伝統は残ってほしいと思っています。

「祭」おわりに

最後に、もう一度この場で宿舍祭を支援してくださる方や来場者の方々に感謝の気持ちを伝えさせていただきま。今後の宿舍祭もより一層楽しんでいただけるものになると思うので、今年来場なさってくださいただの方や多忙で今年はお越しできなかった方も楽しんでいただけるよう、私もOBとして支えていきたいと思っています。今後とも筑波大学宿舍祭実行委員会をよろしく願います。



津軽三味線倶楽部無弦塾

茗溪・東西南北

鳥取県茗溪会活動報告

ラグビーワールドカップが日本全国各地で開催され、迫力たっぷりのプレーは我々に大きな驚きと感動を与えてくれています。本誌が発行される頃にはおそらく日程は大詰めを迎え、日本は開催国としての偉業を讃えられていることでしょう。私事ですが、学生時代に理事長である江田先生からラグビーを教わりました。学生たちの中に入って、はつらつと走り回りながら指導された姿を思い出します。

さて、令和元年度鳥取県茗溪会総会は7月13日(土)に15名の参加者を得て、鳥取市の白兎会館で開催されました。開会に先立ち鳥取県の体育・スポーツ界に多くの功績を残し昨年11月に逝去された故足立猛氏(35教大)に参加者全員で黙祷を捧げました。総会は茗溪創基150年記念事業等の定時総会代議員報告に続き会員の慶弔報告、新入会員紹介、予算・決算審議が行われました。

総会に続いての懇親会では本名俊正氏(43教大農)のご発声による乾杯で開宴し、和やかなうちに懇談が進みました。出席者一人一人が近況を報告し、最後は「桐の葉」に参加者全員で肩を組み合って声高らかに歌い、会を終えました。学生時代、事あるごとに歌った宣揚歌は何十年も前の自分を鮮明に思い出させてくれます。

鳥取県茗溪会の課題は他県の地域組織と同様、新入会員の発掘と情報入手、そして、総会への参加者の勧誘です。東西に長い鳥取県は会員が一堂に会することが中々難しい状況ですが、一昨年から副会長を4名に増やし、東・中・西部各地域の副会長にお願いし、少しでも多くの会員に参加を呼びかけるよう努めています。



令和元年7月13日 鳥取県茗溪会懇親会

県の総会とは別に、西部地区では毎年2月に地区茗溪会を開催しています。この会には毎年20名を超える会員が集まり、荒松徳夫地区会長の手打ちそばが振る舞われたり、会員による時代を風刺した電子紙芝居など様々な工夫によって、若手や女性の参加者も多く、業種を越えた交流が見られ、県総会とはひと味違う賑わいを見せています。県組織としましても様々なアイデアを出しながら総会を活性化したいと考えています。

むすびに茗溪会のますますのご発展をお祈りしますとともに、今後も鳥取県茗溪会に対し変わらぬご指導を賜りますようお願い申し上げます。

(鳥取県茗溪会会長 小倉健一)

九州・沖縄ブロック代表者会議

令和元年9月14日(土)午後1時30分より、福岡市の平和楼天神本店にて「茗溪会 九州・沖縄ブロック代表者会議」を実施しました。

茗溪会では組織力強化策の一つとして、全国を6つのブロックに分け、各都道府県単位の活動だけでなく、近隣の県がそれぞれの活動内容や取組を共有することで各地域組織の活性化を目指しています。今回の九州・沖縄ブロック代表者会議は、地域組織間の横の繋がりを深め、それぞれの県が抱える問題(会員確保、会費納入率の向上、支部総会への会員参加数の向上等)や、「茗溪・筑波産業人倶楽部」との連携などについての意見交換を目的としました。

当日は、東京本部から川田孝一理事を迎え、佐賀県の松雪督氏、熊本県の大嶋康裕氏、大分県の田崎弘宣氏、鹿児島県の二石正彦氏、沖縄県の前門晃氏、福岡県の松井宏樹氏、児島悟氏、片山英和氏、永沼真紀の10名が参加しました。

まず、川田理事より、茗溪会組織委員会の事業計画とブロック代表者会議の意義や実施状況、茗溪・筑波産業人倶楽部の状況等について説明がありました。その後、参加者からそれぞれの支部の現状、特に総会の参加人数や形式、参加者増への取組、企業内茗溪会の有無などについて意見が出されました。

また、福岡県の松井氏より茗溪・筑波産業人倶楽部九州・沖縄ブロックの立ち上げについて、まずは福岡の企業に勤めるメンバーが集まり会合を持つこと、その後九州・沖縄各県に声をかけ数年かけて組織化していくことなどが説明されました。

意見交換では、総会前の講演会の実施や総会資料への広告の掲載により企業勤務者の総会への参加が増加した例や、総会を事務局が運営するのではなく学年幹事で回していく例、講演会への講師等は県内だけでなく本部会



(福岡茗溪会 支部長 永沼真紀)

の講師データバンクの活用もできることなど、今後の支部運営に役立つ意見を聞くことができました。
本部への要望として、各支部への茗溪会の旗の配付(支部総会で旗を掲示)、ブロック代表者会議を定時総会で開くための代議員以外の代理参加の検討などが出されました。

最後に、今回の九州・沖縄ブロック代表者会議は5月の茗溪会定時総会時のブロック会議の中で、茗溪・筑波産業人倶楽部九州・沖縄ブロックの進捗状況について確認することと合意を得ました。

【茗溪会 ブロック構成地域組織】

ブロック名	地 域 組 織 名
北海道・東北	北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島
関東甲信越	茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、山梨、新潟、長野
北陸・東海	富山、石川、福井、愛知、岐阜、三重、静岡
近畿	滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
中国・四国	岡山、広島、鳥取、島根、山口、香川、徳島、愛媛、高知
九州・沖縄	福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄

令和元年10月15日

令和2・3年度 代議員選挙公示

一般社団法人茗溪会 選挙管理委員会

定款では、代議員が法律上の社員となり社員総会の議決権を持つと定められており、代議員の選任は全正会員からの立候補及び推薦による候補者を全正会員の投票により選出することになっております。代議員選挙規程に基づき下記の通り選挙を実施します。

記

1 代議員定数95人(平成31年4月1日現在正会員数による)

2 立候補手続き(①立候補者)

(1) 立候補資格…本会正会員(最近2年間の会費納入者または完納者)

(2) 立候補の条件…所属する地域組織等の3名以上の正会員の推薦

(3) 手続き…立候補届(様式6-1)を所属の地域組織等の長に提出

(4) 立候補締切り…令和元年11月6日(水)

3 推薦手続き(②推薦候補者)

(1) 被推薦者の資格…本会の正会員

(2) 推薦の条件…正会員3名以上の推薦

(3) 手続き…候補者推薦書(様式6-2)を地域組織等の長に提出

4 支部とりまとめ

(1) 地域組織等の長は候補者名簿(様式6-3)を選挙管理委員会に提出

(2) 提出期限(地域組織等から本部へ)…令和元年11月20日(水)

5 候補者名簿

季刊誌「茗溪」正月号に同封、投票用紙を郵送。候補者数が代議員定数以内の時は候補者をもって当選とする。

6 投票

…正会員は、投票用紙を選挙管理委員会宛てに郵送する。投票〆切…令和2年2月10日(月)

7 当選代議員公示…季刊誌「茗溪」春号に掲載

東京教育大学・筑波大学体育会

アーチェリー部



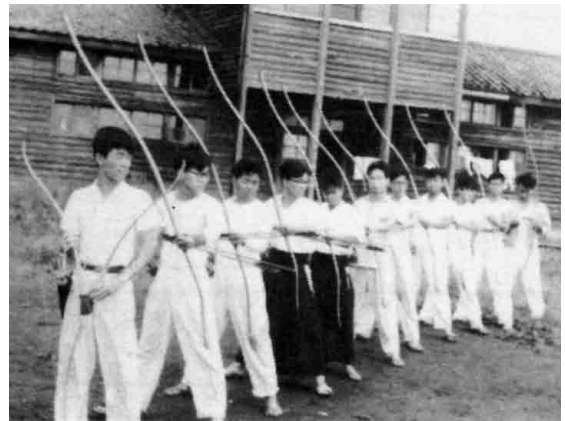
創部60周年記念によせて

東京教育大学・筑波大学体育会アーチェリー部は、昨年11月17日(土) 東京丸の内 アリス アクア ガーデンにて、「創立60周年記念式典」を開催しました(2019年夏号 桐の葉のつどい 参照)。60周年にあたり発行した「創立60周年記念誌」を引用し、歴史を辿り、競技などを含めアーチェリー部を紹介します(注は著者)。

アーチェリー競技は、的を狙い弓で矢を射る単純な競技ですが、そこには射の技術、器具への科学的理解と工夫、体力を持続させる技、そして集中力をはじめとする強い精神力など、いくつか磨かねばならない技能がある魅力的な「静」のスポーツです。スポーツとしての始まりは16世紀イギリスからと言われ、中断されていたオリピック競技が1972年ミュンヘンで復活し広く一般に知られるようになりました。アーチェリー競技が日本に入ったのは1939年ごろで、戦争により一時中断されますが、1947年「日本洋弓会」が発足、活動が再開されました。1958年大学で練習を始めた高柳憲昭氏は、日本でいち早く学生アーチェリーの活動を開始したことになります。

▼教育大に弓道部を創立し学校に届けを出したのは、昭和33年4月の事であった。…その勢いで世界の弓アーチェリーも研究してみようということ、当時の師範小沼先生のすすめもあって、日本楽器の川上社長の援助によりアーチェリーの道具を揃え練習を開始したのは昭和33年の秋のことであった。思えばこれが学生アーチェリーの誕生であり、その意味で駒場の地はアーチェリー発祥の地ともいえる。…同じ頃、日体大、学習院、玉川大もアーチェリー部ができ、この四校でアーチェリー連盟(注…関東学生連盟の前身、日本学生アーチェリー連盟)を結成する気運が起き、私がその初代委員長にされ、連盟結成に努力することになった。

和弓と洋弓が一緒に練習



た。その時作った規約など種々に変わったが、今でも我々がいろいろ考えて決めたリーグ戦を8人でやることなど、未だに受けてがれているので結果としてよかったのかななどと懐かしい気持ちである。

当時の試合はFITA(注…国際アーチェリー連盟、現在の名称はWA世界アーチェリー連盟)の規約通りやろうというところで、リーグ戦ははじめすべての試合がオールラウンド(注…男子90、70、50、30m、女子70、60、50、30mを6射で6回射つ)であった。そして我々の使った最初の弓は竹製で、強さは今では考えられない50(55ポンド(注…弓の強さを示す指標)などで、私は一番強い55ポンドを使用した。(初代主将 高柳憲昭)

この時の4校は、今も大変仲良くしており、絆は日玉筑(当時は教)学新人戦などの行事に受け継がれています。パイオニアたちの道具の多くは手作りだったそうです。▼サイト(注…的を狙う照準器)はゴム輪で、レスト(注…矢の固定台)などというものはなく、矢はもちろん竹の矢に七面鳥の羽根をつけたものであった。(高柳憲昭)

東京教育大学は、茗荷谷と駒場にキャンパスがあり、射場は教育大の農学部キャンパス(現目黒区立駒場野公園)に作られました。

▼正門を入ってすぐの池の端に射場を移すことになった。…地面は平らで雑木を取除いて整備したところ、木々に囲まれ静かな良い射場が出来上がり、別天地の

感がした。(第9代主将 山崎正夫)

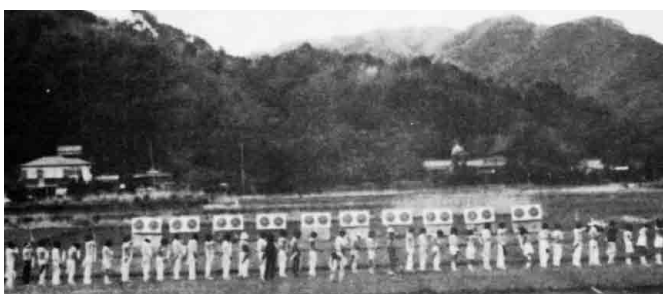
女子部員の確保は、どの時代も苦労していました。▼男ばかりの部活動では潤いが無い。何とか女子部員を獲得しようということで、入学式の日などには校門でチラシを配付したり、新入部員募集のビラを貼り付けた。効果テキメン、3人の女子が入部した。少々つまどったが、それでも収穫があったなど心の中でホエンダ。(第6代主将 石淵隆久)

創設期からリーグ戦の準備という大目的を掲げた春合宿(静岡県三ヶ日など)の集中練習は非常に大切でしたし、長野県野辺山農学部演習林での夏合宿は、筑波大時代の初期まで伝統的に続きました。

▼当時は一面の草原で、着いた日は先ず草刈りをして射場をつくったものでした。(女子一期生 笠原武子)東京教育大学洋弓部は、華々しい成績と実績を残し、昭和49年まで続き、筑波大洋弓部へ引き継がれ、激動の筑波の創設期が始まります。

▼思えば44年前の1974年に筑波大学開学で経験のない1期生有志がアーチェリーを始めるにあたり、教大アーチェリー部と連絡をとったことから部の歴史が始まったのです。そして当時の教大アーチェリー部の天野茂主将や筒井勇夫先輩のご好意もあり静岡県三ヶ日での春合宿に参加させていだいたことが筑波と教大のアーチェリー部の絆が繋がった瞬間でした。(第18代主将 小林千洋)

大学内では、運動系サークルをまとめる体育会が創立し、体育学群が多



1981年 弓が浜での春合宿

くの運動部を占める中、初代委員長は小林千洋氏が務めました。

対外の行事として新たに関東公立戦を創設、様々な方にお力添えいただき、無事、1976年第1回関東公立大学アーチェリー大会（現王座決定戦）を小金井公園弓道場で開催しました。

▼関東公立戦創設に関しては大会委員長に高柳先輩を担ぎあげたことから新しい学連創設ではないかと厳しい関東学生連盟からの査問があり一橋大学の掛川主将と共に説明に行った思い出もあります。その時は篠崎関東学生連盟委員長の理解で事なきを得たのです。

（小林千洋）

今年、44回王座決定戦を開催しています。

男子のリーグ戦の健闘を追って、女子も未登録校戦を制し1976年リーグ加盟が許されます。男女ともに、順調に上位へと成長していきますが、未登録校から勝ち上がった女子の方が参加校や部が少ないこともあり、先



1978年 バスででかけた合宿

に、1982年1部昇格を果たします。当時のリーグ戦は、男子は8人が、女子は5人が並んで実射、各々合計を競います。女子の強さは、男子の闘志にも影響し部全体が、実態としても精神的にも大きくなくなっていきました。部員数は一時期、4学年で70名以上の時もあり、合宿にバスをしつらえて出かけたこともあります。夏合宿の成果が試される個人戦は、当時東京駒沢競技場で予選が開催され（50、30m）、ずらっと並んだのは壮観で、本選はオールラウンドでした。筑波大初期の春合宿は、

他校も集まることから、また名前の影響から、静岡県弓ヶ浜、田んぼの休耕地の射場で行いました。

常に多くの部員を擁することは大変難しく、また、運動サークル離れの時代は筑波にも到来し、苦悩の少人数時代が続きます。学連のリーグ戦でさえ、8人で実射、男子6人、女子4人の合計としています。それでも、女子は、何年か続けて、また男子も2003、2006年には未登録校戦を経験します。その苦しい中、若いOBらが中心になって、陰になり日向になり現役を支えました。部員が少なすぎて練習も難しいころ、個人練習を強化したり、東京理科大の合宿へ合流させていただいたり工夫を続け、この時代を乗り切れたからこそ今のアーチェリー部が存続しています。

また可動式三脚・ナイター設備も備えた射場設備にも恵まれ、少人数ながら、2010年代、徐々に復活の兆しが見られ、順調に成長を遂げ、学連へも復帰、リーグ戦の快進撃へと続きます。

2013年には、60周年に向けたキックオフの会（55周年に相当）を開催、アーチェリー部の順調な成長を祝います。その後、さらに着実に成長を遂げ、男子はついに2015年、一部昇格を果たします。実に、53年ぶりの快挙でした。

現在の部は、少人数ながらリーグ戦を戦い2019年は男女ともに二部を維持しています。今年度の春合宿は千葉県南房総、夏合宿は長野県木島平と、各学年が自主的に場所を決め出かけて行きました。夏の個人戦は、はらっパーク宮代（埼玉県）の広い芝生の競技場で、予選50、30m、本選70m 2ラウンドで競い、今年は2人が本選に勝ち残りました。また、定期戦も増え、体育会関連の役員や関東学生連盟の競技委員長や記録委員など、学内外でも活躍中です。

OB会である駒場クラブの創設は、創部から8年後で、今もその精神を継続しています。

▼「駒場クラブ」は1966年4月に飯塚隆治先輩のご尽力により発足しました。教育大の練習場が駒場の農学部にあったので、そう命名されましたが、体操の「大塚クラブ」に負けず、ここからオリンピック出場を

果たすという大きな願いがこめられていました。（第10代主将 川島輝雄）

▼当時の会則によれば、目的は母校クラブの発展に寄与し、会員相互の融和向上を図ることで、そのための事業として(1)総会の開催(2)母校クラブの後援(3)会員名簿の発行(4)親睦射会(5)その他 となっています。：連絡をとりあって、仕事や他の面でも助け合おうではありませんか。現役に対しては、普段は目立たぬ存在とありたいと思います。（川島輝雄）

現在も駒場クラブでは、年1回、東京と筑波で交互に、現役を交えて総会を開催しています。しかし、長い年月

を経て連絡先の分からなくなつた仲間もいます。

今、新たなアーチェリー部の発展を祈念して、部への援助の充実を図るとともに、70周年に向けて仲間との絆を改めて繋げるため、駒場クラブの連携の強化を進めています。

▼結果は一時的なものではありますが、自分たちが胸を張れるような充実した時間を過ごす価値のある部をつくり、そのDNAを次の後輩達にも伝えることのほうがはるかに重要です。（第22代主将 鈴木盛之）

記念誌の中の後輩へ送った言葉のひとつで締めくくらせていただきます。

（文責 駒場クラブ

下河原（古島）理江子

S54年卒）



2019年 個人戦

2019年3月21日～2019年9月20日

相澤	鎮夫	稲毛	陽一	小野	喬	桑原	洋	繁野	昌司	田中	誠一	中村	美枝子	福澤	幸人	三好	俊文
相沢	利一	岩間	義則	小野	満	小畔	東	茂野	隆一	田中	敏生	中山	慶一	福嶋	綾子	村上	芳彦
阿江	美恵子	岩村	雅朗	折笠	常弘	小池	生夫	芝崎	茂夫	田中	守	中山	貞夫	福島	敬	村田	茂
青木	寛	氏原	悦子	恩田	和也	後藤	恒顕	柴崎	敏	田中	未知	中山	守	福田	正義	森	吉則
青山	和義	占部	和章	甲斐	平八郎	小成	幸男	柴田	淳	谷川	雅典	中山	雄一	藤井	昭一	森永	湜
赤堀	正宜	江田	昌佑	加賀美	雅弘	小林	千洋	洪沢	仁司	千種	知恵	奈良	昭男	藤井	範久	森本	義信
秋山	良治郎	江畑	俊郎	加賀美	雅弘	小林	俊徳	洪谷	進	千田	捷熙	縄田	麻美	藤井	英嘉	森脇	博信
浅沼	道成	海老原	利子	嶽間澤	昌泰	小安	知子	志甫	英一	津田	浩	仁尾	武博	藤家	昭和	安ヶ平	浩
浅野	克己	及川	良一	景山	誠	小山	浩	島谷	弘幸	津田	房枝	西	穰司	藤木	正二	谷中	斉
浅野	義尋	大石	進	片寄	郁夫	今	春敏	清水	國道	土江	和夫	西	要嗣	藤本	昌男	柳	敏晴
浅見	高明	大上	亨	加藤	信哉	近藤	良享	清水	英世	角田	肇	西川	純	藤本	昌男	矢野	哲
阿部	生雄	大川	豊	加藤	隆勝	今野	巧	庄司	一子	角田	真実子	西野	虎之介	古瀬	貴士	山岸	徳治
雨宮	誠	大久保	隆郎	加藤	充洋	斎藤	久美子	白須	和子	圓谷	浩之	西村	恵子	古屋	敏男	山口	松太郎
綾部	信明	大久保	利宏	釜下	晃	斎藤	隆	末川	大史朗	鶴	浩司	西村	伸平	星野	保喜	山崎	照光
荒木	正博	大沢	太	亀井	浩明	斎藤	均	杉田	基之	手嶋	昇	沼野	良典	前田	嘉昭	山田	順一
安蔵	復也	大澤	良	河合	学	斎藤	光政	鈴木	泰全	手塚	章	根市	均	真砂	芳夫	山田	将之
池嶋	聖也	大下	専一	川内	次夫	三枝	清一	鈴木	仁也	寺尾	壽幸	根立	俊樹	増島	和亥	山本	章雄
池田	泰治	太田	潔	川嶋	鈴乃	坂川	公一	鈴木	勇作	照井	直人	野々村	博	増田	一也	山本	伸弘
石川	博之	太田	正人	川本	太郎	坂田	信久	関崎	哲	戸井田	克己	野間	明紀	増田	眞英	横山	茂樹
石嶋	静一	大谷	久子	神田	茂	阪本	孝男	関谷	晴隆	藤堂	良明	萩平	慎	増田	義弘	吉尾	健太郎
石田	廣吉	大西	義人	菅野	等	坂本	透	高井	貞昭	遠間	春彦	畑澤	潤一	松浦	孝治	吉川	正美
石田	幸栄	大浜	あつ子	木内	晃	佐々木	敏恵	高岡	正幸	朽堀	申二	花吉	洋一	松川	彰	吉田	茂
石野	妙子	大村	一光	岸川	章修	佐々木	優子	高木	まさき	利根	美砂	林	等	松沢	宏明	吉田	秀一
石原	麻理恵	大村	武司	岸本	弘子	佐竹	昌之	高槻	浩司	豊田	治規	原	美子	松下	繁雄	吉田	俊純
石渡	和実	大山	康彦	北	昭	佐藤	功	鷹野	誠三	内藤	章弘	原田	隆康	松下	真一郎	吉野	孝一
磯部	一洋	岡出	美則	北澤	茂夫	佐藤	悦郎	高野	大二郎	永井	邦治	原田	満彦	松下	健	従野	明宏
伊丹	尚子	岡崎	一雄	北原	伸郎	佐藤	和行	高野	だいわ	永井	肇	春成	幸男	松村	公仁	六谷	明美
板持	頼好	小鹿野	友平	佐藤	忍	佐藤	潤子	高野	武男	中込	喜仁	坂東	隆男	三澤	淳良	若林	一民
板本	正夫	小川	佳実	金城	早希	佐藤	成明	高橋	繁	長坂	昭雄	東	勇介	三澤	義一	渡邊	功
市村	操一	小口	隆	日下部	公昭	佐藤	義栄	高橋	信雄	永澤	正好	樋口	聡	三島	次郎	渡辺	貴則
市村	一司	小口	正行	久保寺	恵美	佐藤	久	高橋	康人	長島	伸江	土方	多美枝	水嶋	克義	渡辺	浩光
出井	善次	奥山	訓近	久保寺	信一	佐藤	欣之介	高村	克人	永嶋	正嗣	平松	広太郎	水城	忠明	渡辺	渡
伊東	佳名子	長田	裕	倉島	武徳	塩井	敏治	高森	秀蔵	中谷	昭	平松	雅夫	溝口	繁美	(五十音順敬称)	
伊東	隆則	小堀	美千里	倉持	三郎	塩井	敏治	竹内	京子	中西	章	廣野	祐二	皆川	達哉		
伊藤	忠一	小沼	佑之介	倉持	英樹	直原	幹	田島	祥光	中野	光	弘本	由香里	宮田	和信		
伊藤	義博	小野	清子	蔵本	明靖	重田	親志	立石	秀樹	中村	静子	深谷	祐	宮田	智史		
		小野	桂市	黒田	和生	重藤	辰治	田中	清之	中村	博史	福井	正信	三好	清人		

会費完納会員の皆さまへ

令和元年10月15日

一般社団法人 茗 溪 会

理事長 江 田 昌 佑

令和元年度『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、「茗溪会拡充キャンペーン」を推進し、その一つとして会費完納会員を対象とした「茗溪フェロー」を創設いたしましたところ、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。

誠にありがとうございました。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在学生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げる次第でございます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円／年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。

会員番号は必ず記入してください。

(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)

新たにクレジットカードでお支払いもできるようになりました。詳細は事務局までお問い合わせください。

- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

季刊誌『茗溪』正月号に 誌上交流広告掲載ご協力のお願い

日頃から、茗溪会にご支援・ご協力いただきまして、ありがとうございます。

さて、季刊誌『茗溪』では、年2回、誌上を使って、会員相互の交流を図るために交流広告を募集してまいりました。次号(1104号)では、「年頭の挨拶」を交わす誌上交流を会員の皆さま全員にお願いして掲載致したいと存じます。

下記の要領により、ご応募くださいますようお願いいたします。

記

◆掲載方法

季刊誌『茗溪』正月号(1104号)誌上

上段に「謹賀新年 令和2年 今年もよろしく
お願いいたします」のタイトルを標記いたします。

◆掲載対象

茗溪会等の代議員・理事・監事・各地域組織等の代表者(会長・支部長・校長等)をはじめ、会員の皆さまにお願いします。

◆掲載内容

地域組織の代表者名、個人名、連絡先、卒業年、卒業学科、学類及びコメント(30字程度)

コメントは、例えば今年の抱負、総会等の主な行事、サークルや同期会等のお知らせ等々を、全国の仲間と交流してください。

◆掲載文の連絡方法

FAXまたはメール等で、本部事務局宛ご連絡ください。

◆掲載協力金

1件につき10,000円をご協力ください。

協力金は本部事務局までご送金ください。

◆原稿等の締切り

令和元年11月22日(金)です。

◆連絡先

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23

茗溪会 事務局長 矢野正人

TEL 03-3941-0136

FAX 03-3941-7674

E-mail info@meikei.or.jp

*印刷業者からゲラが出てまいりましたら、お送りして、確認していただきます。

筑波大学は今

小・中学生向け学習イベント 「ちよこつと探究クラブ2019」を開催

「楽しみながら勉強しちやおう！」をキャッチフレーズに、昆虫探しから哲学まで文系・理系を問わず幅広い体験ができる学習イベント「ちよこつと探究クラブ2019」を8月26日、東京キャンパス文京校舎で開催しました。

小・中学生やその家族ら約250人が参加し、校舎1階のラウンジや教室に設けられた11のコーナーを巡って、終わりが近づいた夏休みの1日を有意義に過ごしました。

「ちよこつと」シリーズは、毎年4月の科学技術週間に筑波キャンパスで開かれる「キッズ・ユニバーシティ」の姉妹版として企画され、今年で4回目。毎回



彫刻タッチツアー



クイズで知る日本の地理

工夫を加えており、今回は「彫刻タッチツアー&アートメダル制作体験」「飲みものの中の糖分量を見てみよう」など3コーナーが初登場しました。

各コーナーでは、大学の教員らが専門を生かした教材や問題を用意し、学生の協力も得て指導にあたりました。芸術から人文社会、理工系までユニークな研究を展開する本学ならではの催しで、参加者に将来の進路選択のきっかけを提供する場ともなっています。

オープンキャンパスに3日間で3万人以上が参加

8月3日、4日、10日にオープンキャンパス（受験生のための筑波大学説明会）を実施しました。学類・専門学群別の説明会では、模擬講義や学生生活紹介等の様々なプログラムを行い、約12,000人の高校生等に本学の魅力を広くアピールしました。

また、受験相談や保護者・高校教員向けの大学概要説明の他、学生宿舎、附属図書館、先端研究センター群等の施設見学にも約19,000人が参加しました。

猛暑の中、多数の高校生や保護者の方々と、案内役の在学生が行き交い、キャンパスはさらに熱気を帯びた雰囲気になりました。



令和元年度オープンイノベーション機構の整備事業支援対象大学に決定

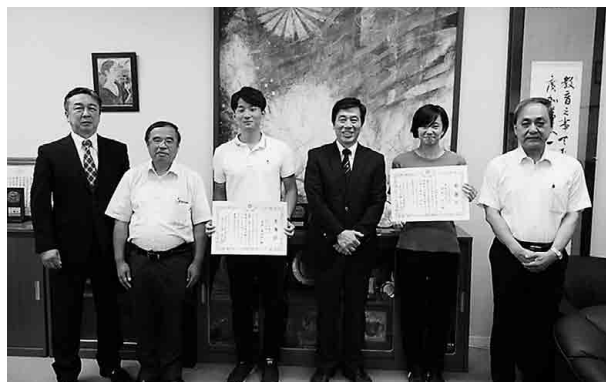
この度、本学が提案した「筑波大学オープンイノベーション国際戦略機構（O-I国際戦略機構）」が、文部科学省の「令和元年度オープンイノベーション機構の整備事業」の支援対象大学（申請件数12件中4大学）に採択されました。

これにより、本学ではO-I国際戦略機構をハブとして「組織」対「組織」による本格的産学連携の実現を図り、2025年までに企業から本学への投資を3倍増とすることを目指します。

本学体育専門学群生に対し つくば中央警察署から感謝状が贈呈されました

9月18日、本学体育専門学群生に対し、つくば中央警察署から感謝状が贈呈されました。感謝状は、8月18日に春日付近で、本学体育専門学群3年次西村生さん、体育専門学群3年次浅野優次郎さんが、道に迷っている高齢者に声をかけて付き添い警察署に届け出たことにより、行方不明の届出があった方が無事保護され、人命救助につながったことに対する感謝の意を表すものでした。

署長の代理として感謝状の贈呈を行った齊藤生活安全課長によると、今回の2人の体育専門学群生の適切な対処に感謝するとともに、「高齢者の徘徊による行方不明者は、つくば市内において年間約100名のほり、中には事故等により命を落とすケースもある。今後、道に迷っている高齢者を見かけたら、警察署に一報いただきたい。」とのことでした。



左から酒井副学群長、齊藤課長、浅野さん、中川学群長、西村さん、佐野副学群長

茗溪学園だより

筑波大学Ⅱ茗溪学園グローバル化推進協定

この度、筑波大学と本校との間で、「グローバル化推進に関する協定」が締結されました。この協定は、「大学及び高校における教育の課題に関し、それぞれの伝統と教育理念並びに高校創設の歴史経緯に鑑み連携を図り、教育及び研究の充実・推進並びにグローバル化に資することを目的とする（協定書第1条）」もので、本協定により本校は筑波大学のすぐ近くにある学校として、ますます深い結びつきをもつて、生徒達の学習環境をより高度なものへと押し上げることができるようになります。心から感謝申し上げます。

「茗溪会」百周年事業により誕生した本校は、教員が筑波大学卒または大学院修了者がその6割を占めるなど、深い縁で結ばれ、開校以来多大なるご協力ご援助を賜ってまいりました。創立40周年となる今年、このようにさらなる関係強化が図られましたことを本当に嬉しく思います。ご期待にお応えできるよう、グローバル化推進、優れた人材育成に邁進してまいります。

本校のグローバル活動

「アジア架け橋プロジェクト」など多くの留学生受入れ「アジア架け橋プロジェクト」は文部科学省の事業と



締結後の記者会見で筑波大学永田学長(右)本校田代校長(左)(7月25日)



遠路はるばるやっと寮に到着した5人の留学生(8月23日、寮エントランスにて)

して昨年度から始まりました。昨年は2名を寮で受け入れましたが、今年は5名(タイ、インドネシア、マレーシア、インド、中国、男4女1)の受け入れとなりました。8月23日に到着し、早速寮生活が始まっています。知識欲旺盛で、日本のことを少しでも多く学んでいきたいという気持ちが伝わってきます。日本語の上達も早く授業中の学びの態度からも熱心さ、優秀さが窺えます。留学期間は半年ですが、寮生活を通してより深い交流が行われ、充実した留学となるよう願っています。

本校のグローバル交流については、本年4月から7月までに、8カ国12校から119名の生徒が来校しています。多くは2週間の短期留学ですが、研究発表会を開催したり、筑波大学を訪問したりと様々なプログラムをこなし、寮では生活時間・空間を共有する密度の濃い交流となっています(本校が独自に行ってきた短期交換留学プログラム「SOSSEP」はホームステイでの交流)。

SSH生徒研究発表会「ポスター発表賞」受賞

今年度の発表会は、8月7・8日神戸国際展示場で開催されました。参加したのは、SSH指定校212校、発表経験校6校、海外招待校23校で、合計241件の発表がありました。

本校からは、小澤一毅君(高3)の個人課題研究(テーマは「線虫の紫外線学習の発見と神経メカニズムの解明」が本校の代表研究として参加しました。発表補助役の2名が加わり、素晴らしい発表となりました。そして、「ポスター発表賞」を受賞しました。22校がこの賞を受賞しましたが、茨城県内SSH校では三校が受賞しています。身近に参考になる学校があることも、SSH活動をさらに向上させる力となります。切磋琢磨して互いに成長していきたいと思えます。

グローバルリンク・シンガポール最高賞受賞

「アジア太平洋地域の中高校生国際課題研究発表コンテストGlobal Link Singapore」が、7月末シンガポールで開催されました。6カ国・地域から61校313名が参加し、Global Science Link(科学部門)へGlobal Issue Link(社会

部活動など結果報告(7月～9月)

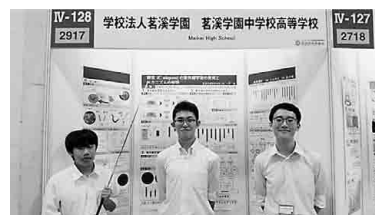
【高校全国大会】インターハイ結果:バドミントン男団体2回戦進出(写真)、テニス女個人1回戦、体操女個人72位・男女2名予選敗退、ラグビー第6回全国7人制大会:プレートトーナメント準優勝

【茨城国体】茨城県選手として出場、ラグビー部、軟式野球部、体操3名、バドミントン1名

【中学県大会】バドミントン部男女団体共に優勝(県の中体連バド史上初の快挙)個人・単複男女4種別の内3つで優勝、※中学高校ともにバドミントン部は文武両道で活躍し部活の手本となっている。

【中学関東大会】バドミントン部:男女団体(上位4位に届かず。全国大会出場逃す)、男複全国大会出場、体操部:男子団体10位、女子個人57位、ラグビー部:茨城選抜として出場3戦全勝して関東第1代表として全国ジュニア大会に出場(12月末東京開催)

課題部門)の2部門のテーマについて、コンテスト形式で行われる国際課題研究発表会です。本校高校3年の小澤一毅君(SSH発表会でも発表者となっている。研究テーマは同じ)は、3月つくば市で開催された「つくばサイエンスエッジ」で最高賞を受賞してこのシンガポール発表会への参加権を得ました。そして、最高賞となるオーラルセッション部門「Best Presentation Awards」を受賞しました。研究内容・成果の高さもさることながらプレゼン能力の高さも示してくれました。今後の活躍が期待されます。



小澤君(中央)と発表補助の2人、神戸国際展示場にて



インターハイに出場したバドミントン部、熊本八代市の会場前にて

◆伊藤先生の会(教大理学部植物)

と き 2018年11月9日(金)

ところ 上野「亀屋」

伊藤先生は日本のシダ植物分類の権威で、永年昭和天皇の植物のご相談相手を務められ、「皇居の植物」等の編集者でもある。学問と共に礼節を重んじる教育をなされた。「伊藤先生の会」はご勇退後に始まり、2006年に97歳でご逝去されたが、その後も継続され同窓の友情を高めてきた。今回も遠方より多勢が集まった。

(文責：富永裕之)



◆上田清基名誉教授の白寿を祝う会

と き 令和元年6月8日(土)

ところ 茗溪会館

上田先生は東京教育大学農学部部長および筑波大学農学研究科長を歴任され、昭和59年に退職されました。先生は大正9年9月のお生まれで、本年白寿をお迎えになります。83歳を筆頭とする卒業生及び研究生(培工会構成員)計45名が集まり「上田先生白寿を祝う会」を開催しました。先生はご健啖で、「スポーツの疲労の原因の発見」について40分を超える長時間の格調高いご講演をいただきました。先生のバイタリティーには皆一同圧倒された次第であります。さらなる先生のご健勝を祈念し、再会を誓いました。

(幹事：田中秀夫)



◆東京教育大学農学部生物化学工学科
昭和44年卒同期会

と き 令和元年6月14日(金)

ところ 新宿つな八 別館つのはず庵

卒業し早や50年の歳月が流れた。久々の新宿に戸惑う人も居たが、定刻には9名参集。まずは、名簿と共に山中湖岳東寮に遊んだ学生時代の写真を配布し、歓談の助けとした。続いて、出席者から各自それぞれに楽しく充実した近況の報告があった。その後、二次会まで全員の足が揃い、1年後の再会を約して散会した。

(写真：渡辺康成 文責：北嶋仲雄)



◆第12回大塚人文地理学OB会

と き 令和元年6月29日(土)

ところ アルカディア市ヶ谷(私学会館)

東京文理科大学・東京教育大学・筑波大学で人文地理学を学び、大学その他で研究と教育に携わってきた60歳以上の東京および関東在住者を中心とした交流会で、20名が参加しました。それぞれが、現在の取り組みについて熱っぽく語り、楽しい会になりました。

(写真：内山幸久 記：山下清海・村山祐司)



◆東京教育大学体育学部昭和47年入学生「第3回同窓会」

と き 令和元年7月13日(土)

ところ 嘉ノ雅・茗溪会館

3年前に再会を約束した「第3回同窓会」を、卒業生の聖地「嘉ノ雅・茗溪会館」で開催しました。北は青森、南は鹿児島より47名が集まり、学生時代の思い出、セカンドライフへの意気込み、孫の自慢話などで盛り上がり、一次会3時間、二次会2時間にわたる「大宴会」となりました。次回は3年後、関西で開催することを約束し「お開き」となりました。

(実行委員長：日高哲朗)



◆筑波大学体育専門学群3期生同期会

と き 令和元年8月24日(土)

ところ 人人人(れんれんれん)東京店

体育専門学群3期生全体の集まりは、卒業後初めてです。一次会89名、二次会67名の参加で、大いに盛り上がりました。卒業アルバムを見ながら、部活動や研究室の繋がりをもとにして連絡を取り合いました。思い出の写真を映しながら語り合い、思い出に浸り、締めに宣揚歌「桐の葉」の大合唱で、心に残る一日を過ごしました。

(写真：内藤真弓 文責：長岡由子)



「桐の葉のつどい」の掲載について

以下の要領で写真と原稿をお寄せください。

(写真) フィルムカメラ、デジタルカメラのいずれで撮影したもので構いません。紙焼きでも、デジタルカメラの場合はデータをメールでお寄せいただいても構いません。

(文章) グループの名称、お集まりになった「とき」「ところ」を別項にして、必ずお書き下さい。会の模様を紹介する文章は31文字×5行以内でお願い致します。

追 悼 録 (敬称略)

長谷川三郎	16理三 茨城	31・4・4 妻	長谷川葉子
酒井 康	19文一 京都	31・2・19 次女	辻田真理子
鹿野 健	19文四 岐阜	1・7・1 妻	鹿野 妙子
神田 鉦三	22文一 北海道	1・5・17 長女	神田美知子
青木 修	22農教 岐阜	1・5・6 次女	青木 史子
中山 守	23体 茨城	1・9・13 妻	中山 信子
清水 毅	23体 兵庫	1・6・6 長女	清水 正子
森 良多	24理一 千葉	31・3・24 妻	森 照子
藤巻 史	24理一 東京	1・8・31 妻	藤巻 潤子
樋笠 茂	25文四 東京	1・5・21 娘	樋笠あゆみ
片岡 勉	26理一 千葉	31・4・13 長男	片岡 淳
鈴木 等	26理四 岩手	31・3・25 妻	鈴木 尚子
笠井 正雄	26理四 東京	31・4・22 長男	笠井 和正
北村 喜男	26体専 長野	1・5・29 長男	北村 桂一
伊與田 勇	27農教 千葉	31・1・19 妻	伊與田美枝
山根 献	29教大独 千葉	1・6・21 長女	城 里左

逝去会員氏名・卒年科・逝去年月日・ 地域・続き柄・遺族氏名

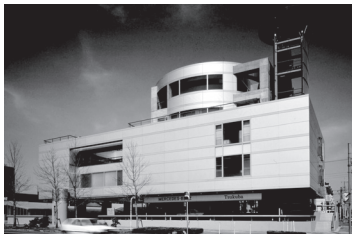
橋詰 昭夫	29教大物 東京	30・12・28 妻	橋詰美也子
佐藤 達男	30教大教 宮城	31・3・19 妻	佐藤あけみ
竹内 晟	31教大教 神奈川	31・4・8 長男	竹内 秀夫
高野 幸	32教大哲 長野	31・4・1 妻	高野 良子
金沢 道弘	32教大日史 長野	30・12・5 長男	金沢 善明
小久保昇治	33教大体 大阪	31・2・12 妻	小久保敏江
矢島 秀次	33教大体 長野	31・2・9 妻	矢島美恵子
山形 和美	34院修英 栃木	1・5・21 妻	山形 幸子
八塩 光子	35教大英 東京	1・6・1 姉	八塩 和恵
木村 幸	35教大言 山形	1・6・21 女婿	田中 徳彦
神谷吹美雄	35教大総農 東京	30・8・29 妻	神谷 禎子
齋藤 勝郎	35教大体 山形	1・6・2 三男	齋藤 利行
佐藤 洸	36教大健 埼玉	1・9・4 妻	佐藤美和子
錦織 保夫	37教大植 千葉	31・1・26 妻	錦織三津子
直之 秀雄	38教大体 宮城	31・4・19 妻	直之 庸子
小林 武一	42院修農化 鹿児島	30・9・20 妻	小林 ミヨ



Service Safety Sincerity
あなたのそばに。セキショウグループ。

SEKISHO
Energy for your Life

当社は「一般財団法人 関彰育英会」を通して、筑波大学
大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の
支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正 樹 (学校法人 若漢学園理事)

つくば本部／茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151

若漢会担当：取締役常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<http://www.sekisho.co.jp/>



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料

☆カード利用 OK!

☆貸切バス事業者より

安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301

FAX 029-864-4727

メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302

各営業所に通じます

予 告

公開講座

テーマ…「英語シリーズ」第18回
講 師…藤原保明先生
日 時…2019年11月9日(土)
14時～15時30分予定
場 所…筑波研修センター

第7回 東京茗溪会総会・講演会・交流会

日 時…2019年12月1日(日)
会 場…茗溪会館
総 会…14時
講演会…15時

「日本の科学教育はどうなるの？」

講 師…尾嶋好美氏
交流会…16時30分

第6回 茗溪・筑波産業人倶楽部

日 時…2019年12月14日(土)
場 所…茗溪会館予定
講 演…「企業経営の組織マネージメントをめぐる課題」
講 師…井口武雄 茗溪会副理事長

その後、参加者全員による意見交換と懇親会を予定しています。

株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032
東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル
代表取締役 荒井 豊人(昭和57筑基工)
TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

経営・労務・年金etc. コンサルタント
福岡経営労務事務所

〒125-0042 葛飾区金町3-27-3
TEL 03(3607)0551 FAX 03(3607)0551

所 長 福岡 一雄 (32教大法政)
社会保険労務士

JUWA 株式会社 十和観光
代表取締役 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail: travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

株式会社 岩手チキン工房

—みんなに笑顔をお届けします。—

代表取締役 田中 修 (昭54筑農林)
社 長

〒028-3309 岩手県紫波郡紫波町北日詰字城内85-1
TEL: 019(676)4121 FAX: 019(676)4464
<http://www.i-c-koubou.co.jp>

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ
代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡 2004年卒)

FXC
Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之(93筑修経営)

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 **ケイエスアイ**

東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋2-3-1
東京フジビル502号室

TEL 03-5357-1668 FAX 03-5357-1669

株式会社 長谷工 コーポレーション

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)1578

常務執行役員 植岡 祥之(昭57筑社工)

つくばでの宿泊・研修に—

ご家族で、お仲間で

最大収容180名、お一人3,800円から
茗溪会員とご家族に割引あり
研修セミナー・サークル発表会・各種会議・学習合宿・部活動合宿に
シングル145室ツイン5室和室5室／研修室2室(120・40名)
和室も研修室として利用可(20畳、10畳)
館内食堂《こうせい》でパーティ・懇親会等(数名から80名まで)

アクセス 秋葉原駅からつくばエクスプレスで45分「つくば駅」下車
●バス／「筑波大学循環」3つ目「筑波メディカルセンター前」下車
徒歩8分 ●つくば駅からタクシー／5分

一般財団法人筑波学都資金財団
筑波研修センター

〒305-0005 茨城県つくば市天久保1-13-5
TEL 029-851-5152 / FAX 029-851-8886

<http://www.meikei.or.jp/~center> e-mail: center@meikei.or.jp



令和元年春の叙勲

おめでとうございます(追記) 敬称略

瑞宝中綬章

植村 典昭 37教大休

(香川)

瑞宝双光章

金子 政雄 30教大植
阪本 忠一 42教大数・46院修数

(東京)
(三重)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

訂正

前号(令和元年夏号)で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします。

・P 22 「桐の葉のつどい」

事務局の手違いにより、一部個人情報掲載してしまったことをお詫びいたします。

・P 26 「春の叙勲 瑞宝小綬章」

(正) 吉澤 優
(誤) 吉澤 勝

広報

「筑波大学新聞」10月号を同封します

春号に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

公益財団法人 柴田育英会だより

茗溪会元理事長の柴田周吉氏が設立した柴田育英会の「奨学生懇談育成会」が、10月6日(日)に茗溪会館で開催されました。

著書紹介の掲載について

季刊誌「茗溪」には、茗溪会員皆さまの著書を紹介しております。先輩・後輩・友人などの著書を、25字×18行程度の紹介文にして茗溪会事務局へ送ってください。なお、書名・著者および本人の卒業年度、学部、学科(学群・学類)、本の大きさ、ページ数、価格、発行所等を付記してください。

送っていただいた原稿は、できるだけ多く紹介しようと考えております。また、紹介した本を長く保存するため、事務局に一冊ご寄贈くださるようお願いいたします。

表紙写真について

平成30年1097・春号より、本誌の表紙の写真は各地域組織からご提供いただいたものを使用させていただいております。これまで、愛媛から始まり、札幌、沖縄、富山、岩手、熊本とバトンをつなぎ、今回は愛知にお願いをしました。今後、各地域組織には順次お願いしていく予定ですので、その節はご対応のほどよろしくお願いいたします。

表紙の言葉

愛知茗溪会 山内 久義

平成11年7月、「日本の棚田百選」に認定された「四谷の千枚田」(愛知県新城市)は鞍掛山の麓に高低差200m、420枚、3.6haの棚田が階段状に連なり、四季折々の奥深い魅力をみせてくれます。農林水産省は、農業収入や兼業のみでの棚田の維持が難しいと考え、棚田百選を選定したことです。

かつては1,296枚あった田んぼも減反、転作を余儀なくされ、420枚まで減少しました。鞍掛山に水源を持ち、麓に広がる棚田は、400年前に開墾されたと言われています。山の中腹からこんこんと湧き出る湧き水は毎秒20リットルで涸れることなく、また、大雨が降っても濁ることなく、良好な景観形成、生物多様性などの多面的な機能を増幅し、緑と水を守り、地球環境に優しい棚田です。傾斜地、山林を苦勞して開墾し構築した石積みは先人の血と汗の辛苦の賜物であり、四谷の千枚田は現在に引き継がれています。

編集後記

本号では、茗溪創基150年記念事業として位置付けられた「占春園再生プロジェクト完成祝賀会」と、「追悼のつどい」の様子をお伝えします。

また、同じく記念事業としての「学生活動支援事業」で採択された筑波大学の活動団体等の紹介、および45回を迎えた筑波大学の「やどかり祭」の様子など、筑波大学の学生の活動状況をお伝えします。

今後、茗溪会が卒業生のみならず、現役の筑波大学生の皆さんとの関わりをより一層強めていく必要性が注目されています。(前田)

お願い

・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
・年会費のお振込みは、早めにお願いたします。

令和元年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

TEL 012 東京都文京区大塚 一五二三

TEL 03 三三九四一〇一三六

FAX 03 三三九四一七六七四

Email info@mekeior.jp

URL http://www.mekeior.jp

郵便振替記号番号 00150-214977

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台 一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 029 八五〇一〇四四

FAX 029 八五〇一〇四五

Email tsujinuu@mekeior.jp

印刷 東京都文京区関口 一三九一〇

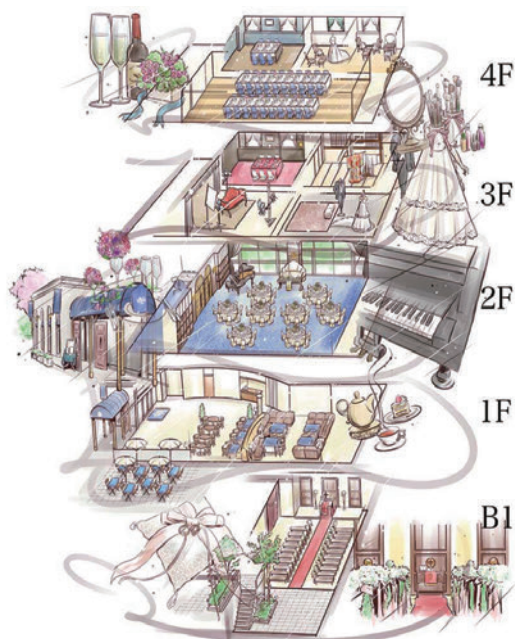
山浦印刷株式会社

Wedding



KANOBI MEIKEIKAN

一日一組 5フロア全館貸切で、あなただけの特別なウェディングが叶います。

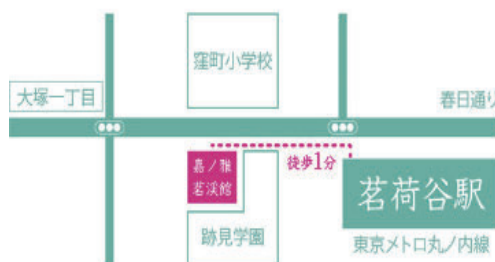


筑波大学・卒業生・関係者の皆様だけに贈る

ご優待特典

費用総額より5%OFF

池袋駅から5分・東京駅から10分。
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅から徒歩1分。



“嘉ノ雅,, 茗溪館

KANOBI

MEIKEIKAN

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23

HP: <http://www.kanobi-meikeikan.com/wedding.html>

TEL: 03-5319-1888

問い合わせメールアドレス: info@kanobi-meikeikan.com

営業時間: 11:00 ~ 20:00 (第二火曜日定休)

▼フェア詳細

▼HP



息子よ、 いつまで一人で帰省する。

「いつ結婚するの」「仕事が忙しくて」会話はいつもここで止まります。

キューピッドの女性会員は、結婚の対象として魅力的な人ばかり。

ご本人の幸せを願うご両親の選択眼に応える会員制クラブです。



真実だから、伝わる。実話だから、共感できる。

3,000通を超えるメッセージから、珠玉の実話を厳選。

結婚の素晴らしさを改めてお伝えします。

ご入会の方へ
プレゼント中

キューピッドクラブ

検索

毎週届くご結婚カップルの真実の言葉。

●ご婚約カップルに接したスタッフブログも更新中。

キューピッドの 結婚



キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年S・U・L・Cの名称で設立以来39年。

■パンフレット「The Cupid Style」をお気軽にご請求ください。

☎ 0120-0333-82

■入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

●男性 25～45歳、定職におつきの方。●女性 20～40歳

※入会に際して審査があります。



結婚を誠実に考える人の会員制クラブ
Cupid Club

〒104-0061 東京都中央区銀座4-2-11ヒューリック銀座数寄屋橋ビル7F 03-5524-3555 公式ホームページ www.cupid.co.jp

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚1丁目5番23号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ http://www.meikei.or.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金(税サ込)

シングルB(バス・トイレ共同)

¥ 7,200→平日¥ 5,000 休前日¥ 6,000

シングルA(バス・トイレ付)

¥ 9,000→平日¥ 7,000 休前日¥ 8,000

ツイン(バス・トイレ付)

¥13,800→平日¥10,500 休前日¥13,500

朝食バイキング ¥ 1,200→¥ 840

大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2

TEL 03 (3356) 4605

FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口
都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口
地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口 } より徒歩7分
JR新宿駅より車5分



桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群(仮称)2020年4月開設予定

桜美林学園 理事長・学園長 佐藤 東洋士
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一(昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758

桜美林大学インフォメーションセンター

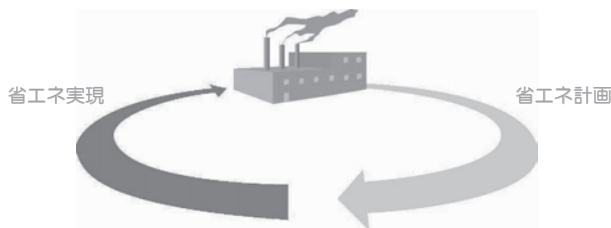
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



ENERGY SAVING SYSTEM FOR

YOU

熱エネルギーの有効利用



排熱 & 未利用エネルギー

MAKE THE MOST OUT
OF
YOUR WASTE HEAT

Osaka
Techno-cratic

<http://www.osaka-techno.com>

TEL: 03-5256-8261

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です
今年創立 40 周年を迎えました

- ◆寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆文部科学省 SSH・SGH アソシエイト認定校です
- ◆「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆部活動が盛んな文武両道の学校です

2020 年度 茗溪学園入学試験日程

中学グローバルコース入試
専願 11月29日(金)、併願 1月12日(日)
中学推薦入試・帰国生入試 12月14日(土)
中学英語資格入試
第1回 12月14日(土) 第2回 1月12日(日)
中学一般入試
第1回 1月12日(日) 第2回 1月25日(土)
高校帰国生特別選抜
第1回 11月29日(金) 第2回 12月14日(土)
高校推薦入試 1月9日(木)
高校一般入試 1月25日(土)
高校IB入試(専願・IBDPコース) 1月25日(土)
(詳細はホームページなどでご確認ください)



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)